

米国連邦地方裁判所、ジョージア州北部地区、アトランタ地区において

**CORECO JA'QAN PEARSON、
VIKKI TOWNSEND
CONSIGLIO、GLORIA KAY
GODWIN、JAMES**

ケニス・キャロル、キャロリン・ホール・フィ
ッシャー、キャスリーン・アルストン・レイサ
ム、そしてブリアン・ジェイ・バン・ガンデ
イ。

原告団です。

v.

ジョージア州選挙委員会のメンバーとして正
式な立場にあるREBECCA N. SULLIVAN、
ジョージア州選挙委員会のメンバーとして正
式な立場にあるMATHEW MASHBURN、ジ
ョージア州選挙委員会のメンバーとして正式
な立場にあるANH LE。

被告

ケースNO.

宣言的、緊急的、および恒久的な懲罰的救済のための訴状

行為の性質

この民事訴訟は、大規模な選挙詐欺を明らかにします。ジョージア州法の複数の違反、O.C.G.A. §21-2-30(d)、21-2-31、21-2- を含む。

33.1 と §21-2-522、そして特定の事件の事実証人、複数の専門家証人、そしてジョージア州2020年総選挙で発見された途方もない数学的な不可能性によって示されるように、複数の憲法違反。¹

1.

民事訴訟として、原告の立証責任は「証拠の優越」であり、ジョージア州最高裁判所が明らかにしているように、*[i]* (原告) は、*[不在者投票]*が通常の投票であった場合、投票者がどのように投票していたかを証明する義務はなかった。選挙結果を疑うに足るだけの不定期投票があったことを証明する必要があっただけである。"ミード対。

Sheffield, 278 Ga. 268, 272, 601 S.E.2d 99, 102 (2004)(*Howell v. Fears*を引用)。
275 Ga.627, 571 S.E.E.2d 392 (2002)。

¹ ミシガン州、ペンシルバニア州、アリゾナ州、ウィスコンシン州については、専門家の報告書を参照のこと。ウィリアム・M・ブリッグスの宣言、ここでは別紙レポートのExh.1を参照のこと。実際、アリゾナ州では、バイデン氏の投票数に少な

くとも35,000票が不正に追加されたと考えられます。

2.

詐取するための策略と策略は、ジョー・バイデン氏の大統領選を確実にするために、違法かつ不正に得票数を操作することを目的としていました。

3.

この不正行為は様々な手段で実行された²が、最も根本的に厄介で陰湿で非道なのは、昔ながらの「投票用紙の詰め込み」をシステムの的に適応させたことである。それが今では、まさにその目的のために国内外のアクターによって作成され、実行されるコンピュータ・ソフトウェアによって増幅され、事実上見えなくなっている。複数の証人の宣誓供述書、文書、専門家の証言によって示されるように、数学的、統計的な異常は、不可能性のレベルにまで上昇しており、ジョージア州全体でこの計画を証明しています。

特に、フォーサイス、ポールディング、チェロキー、ホール、バロー郡では、非常にひどい行為が発生しました。この詐欺のための計画と策略は、ジョージア州だけでも数万票に影響を与え、ジョージア州でのジョー・バイデン氏の選挙を「不正操作」しました。

²50 USC § 20701 は、選挙の役員による記録と書類の保持と保存を要求し、保管者への寄託、違反の罰則、しかし、投票用紙の不正行為の幅広いパターンが示されるように、選挙記録の保存が保持されていないことを示しています;とドミニオン

のログは、システム全体の保存システムではなく、任意のものだけです。

4.

大規模な不正行為は、被告のブライアン・ケンプ知事、ブラッド・ラッフェンスペルガー国務長官、ジョージア州選挙委員会が最近購入し、急いで使用したばかりのドミニオン投票システム社（以下「ドミニオン」）の選挙用ソフトウェアとハードウェアから始まっています。セコイア社の投票機は、2006年に16州とコロンビア地区で使用された。Smartmatic社は約1億ドルの収益を上げており、ベネズエラや米国外の市場に注力している。

Sequoia社を売却した後、Smartmatic社の最高経営責任者Anthony Mugica氏はMugica氏は、Smartmaticが米国内のプロジェクトでSequoiaと協力してくれることを望んでいるが、Smartmaticは出資はしないだろうと述べた。と述べています。

5.

スマートマティック社とドミニオン社は、外国のオリガルヒと独裁者によって設立され、ベネズエラの独裁者ヒューゴ・チャベスが二度と選挙で負けないようにするために必要なレベルのコンピュータ化された投票用紙の詰め込みと投票操作を確実にを行うために設立されました(例2に添付されている内部告発者の供述書の修正版を参照)。(Exh.2として添付されている内部告発者の宣誓供述書を参照してください。)特筆すべきことに、チャベスはその後、すべての選挙に「勝利」しました。

³ *WSJ.com, Smartmatic to Sell U.S. Unit, End Probe into Venezuelan Links, by Bob Davis, 12/22/2006, <https://www.wsj.com/articles/SB116674617078557263> を参照。*

6.

付属の内部告発者宣誓供述書に記載されているように、スマートマティックのソフトウェアは、ベネズエラの選挙を独裁者ウゴ・チャベスに有利に操作するように設計されていました。

Smartmaticの選挙技術は、「Sistema de Gestión Electoral」（「選挙管理システム」）と呼ばれていました。Smartmaticは、この分野のコンピューティングシステムのパイオニアでした。彼らのシステムは、インターネットを介して、コンピュータ化された中央集計センターに投票データを送信することを提供していました。投票機自体は、デジタルディスプレイ、有権者を識別するための指紋認識機能、有権者の投票用紙を印刷する機能を備えていた。有権者の親指の指紋は、その有権者の身元を示すコンピュータ化された記録にリンクされていた。Smartmaticはシステム全体を作成し、運用した。

7.

Smartmaticのソフトウェア設計の核となる要件は、投票操作を監査から隠蔽できることでした。内部告発者が説明しています。

チャベス氏が最もこだわったのは、有権者の投票を検知されずに変更できるようにシステムを設計することだった。彼は、有権者が親指の指紋や指紋をスキャナに載せた場合、親指の指紋は有権者の名前と投票したことを示す記録に結び付けられるが、その有権者は変更された投票を追跡することができないように、ソフトウェア自体が機能するようにしたいと考えていました。同氏は、特定の有権者の変更された投票の証拠を残さないようにシステムを設定しなければならず、名前や指紋、親指の指紋が変更された投票と一緒に行われていることを示す証拠や矛盾するものは何も残らないことを明確にしました。Smartmaticはこのようなシステムを作ることに同意し、ソフトウェアとハードウェアを製造しました。

はチャベス大統領のためにその結果を達成したのである。(Id. Id. 参照、添付の Exh.3, Aff. Cardozo, attached hereto)も参照)。

8.

ドミニオンのソフトウェアの設計と機能は、単純な監査では票の誤配分、再配分、削除を明らかにすることができません。第一に、システムの中央アキュムレータには、すべての重要な選挙イベントの日付とタイムスタンプを保持する、保護されたリアルタイムの監査ログが含まれていません。システムの主要なコンポーネントは、保護されていないログを利用しています。本質的にこれは、権限のないユーザーが任意にログエントリを追加、修正、または削除する機会を可能にし、実際の投票集計を反映していない選挙イベントをログに記録するマシンを引き起こし、より具体的には、実際の投票や国民の意思を反映していない。(Hursti 2019年8月宣言、Exh.4として添付されています。45-48 ; および文書 959-4 の 2019 年 10 月宣言、p.18, par.28).

9.

実際、監査およびフォレンジック分析の業界内の専門的な基準では、ログが保護されておらず、変更される可能性がある場合、それはもはや監査ログの目的を果たすことができません。投票機とソフトウェアの物理的なセキュリティ基準が破られ、投票機とソフトウェアが接続されていたという議論の余地のない物理的な証拠があります。

専門家の基準や州法、連邦法に違反してインターネットを利用しています。(イ
ドを参照)

10.

さらに、ステートファームアリーナでの投票の遅れについてのフルトン
郡の選挙労働者の嘘と行為とその理由は、不正を喚起します。

11.

具体的には、フルトン郡のステートファームアリーナからのビデオは、
11月3日の投票終了後に、選挙作業員が水漏れのために施設を閉鎖しなければ
ならなかったと偽って主張したことを示しています。午後10時頃、投票作業員
と挑戦者は数時間にわたって避難しました。しかし、何人かの選挙作業員は、
午前1時過ぎまで、監視されず、投票集計機のコンピュータで作業をしていま
した。

12.

被告ケンプとラッフェンスペルガーは、2020年の大統領選挙⁴のために、
2019年にドミニオンの投票機とソフトウェアの購入を急いだ。国務長官からの証
明書がドミニオンに授与された

⁴ Georgia Governor Inks Law to Replace Voting Machines, The Atlanta Journal-
Constitution, AJC News Now, Credit: Copyright 2019 The Associated Press, June 2019.
<https://www.ajc.com/blog/politics/georgia-governor-inks-law-replace-voting-machines/xNXs0ByQA0vtXhd27kJdqO/>.

投票システムの証明書は、国務長官からのドミニオン投票システムの証明書のコピーであるが、その日付は古い。(添付のExh.5、国務長官からのDominion Voting Systemsの証明書のコピーを参照のこと)。同様に、テスト報告書にはプロジェクト・マネージャーとしてMichael Walkerが署名していますが、これも日付が変わっていません。(Exh. 6, Test Report for Dominion Voting Systems, Democracy Suite 5-4-A を参照のこと。)

13.

被告ケンプとラッフエンスペルガーは、ドミニオンのソフトウェアが2018年にテキサス州選挙管理委員会によって拒否された原因となったすべての懸念、すなわち、検出されず、監査不可能な操作に対して脆弱であることを無視していました。業界の専門家であり、コンピュータサイエンスのプリンストン大学教授であり、選挙セキュリティの専門家でもあるアンドリュー・アップル博士は最近、ドミニオンの投票機について次のように述べています：「投票が終了する直前に、ある候補者から別の候補者へといくつかの票を切り替えてしまうような、少し変わったコンピュータプログラムを作る方法を考え出しました。私はメモリチップにそのコンピュータプログラムを書き込んで、今では投票機をハックするためにあなただけで7分それとドライバーを必要としています。」(Attached hereto Exh. 7, Study, Ballot-Marking Devices (BMDs)

Cannot Assure the Will of the Voters by Andrew W. Appel Princeton

University, Richard A. DeMillo, Georgia Tech Philip B. Stark, for the Univ.

of California, Berkeley, December 27, 2019).⁵

⁵すべての証拠品の完全な編集なしのコピーは、裁判所に封印されて提出され、原告は同時に保護命令を申請しています。

14.

SAMミサイルシステムの電子情報収集の経験を持つ第305軍事情報部の元電子情報アナリストの添付の修正された宣言で説明され、実証されているように、ドミノオンのソフトウェアは、2020年の最新の米国総選挙を含む選挙を監視し、操作するために、中国とイランに代わって行動するエージェントによってアクセスされていました。この宣言にはさらに、ドミノオン・システムの特許記録のコピーが含まれており、その中には、エリック・クーマーがドミノオン投票システムの発明者の第一号として記載されています。(Exh.8として添付されている、2020年11月23日の17ページに及ぶ匿名化された証人宣誓供述書のコピーを参照のこと)。

15.

専門家のNavid Keshavarez-Nia氏は、米国の諜報機関がDominionを含む外国の投票システムに潜入するためのツールを開発していたと説明している。同氏は、ドミノオンのソフトウェアは不正な手段によるデータ操作に脆弱であり、すべての激戦州で選挙データの改ざんを許可していたと述べている。彼は、2020年の総選挙でトランプ大統領に投票された数十万票が、バイデン前副大統領に転送されたと結論づけている。(Exh. 26)。

16.

さらに、選挙管理委員会の記録は、少なくとも96,600票の不在者投票が要求され、集計されたが、有権者によって郡の選挙管理委員会に返却されたことが記録されていないことを証明しています。したがって、最低でも96,600票は無視されなければならない。添付のExh.9、R. Ramsland Aff.参照）。

17.

ジョージア州で使用されているドミニオンシステムは、有権者数と投じられた投票数の照合を侵食し、弱体化させ、これらの数字が照合されないことを許容し、投票用紙の詰め込みや不正行為への扉を開いている。今年のジョージア州の小選挙区と立候補選挙、そして11月の選挙では、選挙の夜にアップロードされなかったメモリースティックから3,300票が発見され、さらにフロイド郡では2,600票の不在者投票がスキャンされていなかったことが手探りで発見された。これらの「発見された票」は、バイデン氏のドナルド・トランプ氏に対するリードを減少させた⁶。

⁶ 再集計で数千票のジョージア州票が見つかる、Atlanta Journal-Constitution, Mark Niese and David Wickert, 11/19/20. <https://www.ajc.com/politics/recount-finds-thousands-of-georgia-votes-missing-from-initial-count/ERDRNXP3REQTM4SOINPSEP72M/votes-missing-from-in-in-count/ERDRNXP3REQTM4SOINPSEP72M/>票が足りない

18.

ジョージア州の選挙管理者と投票所の職員は、知っていても知らずにいても、不在者投票の法的保護措置を守らないことで、ドミニオン州のシステムが大規模な有権者操作を行うのを悪化させ、それを助けました。選挙管理者は署名の確認やセキュリティ封筒のチェックを怠った。また、不正行為を助長するようなカウントの監視も禁じていた。

19.

以下に記載されている実際の投票の専門家の分析によると、ジョージア2020年の総選挙で少なくとも96,600票が不正に集計されたことが明らかになっています。ここに記載されている全ての証拠と主張は、選挙結果を疑うには十分すぎるほどのものです。日までにさらなる証拠が到着し、直ちに発見が命じられるべきである。

20.

ジョージア州法（OCGA 21-5-552）は、選挙の争奪戦を規定しています。

- (1) 結果を変更したり、疑いを持たせるのに十分な初等または選挙の職員または職員による不正行為、不正行為、不正行為、または不正行為。
- (3) 投票結果を変更したり、疑念を抱かせるに足る不正な投票が行われた場合。
- (4) 投票数の数え方や小選挙区や選挙結果の宣言に誤りがあり、そのような誤りが結果を変更する場合。

21.

以下に詳述するとおり、上記の根拠はすべて満たされており、バイデン氏がトランプ大統領を12,670票差で破ったと不正に結論づけた2020年の総選挙結果を、本裁判所に無効とすることを強制するものである。

22.

別個に、独立して、被告が不在者投票の処理と集計に関する法定要件を守らなかったために、5万票以上の不正投票が集計されたことを理由に、選挙結果を脇に置くための十分な憲法上の理由がある。

当事者

23.

原告 Coreco Ja'Qan ("CJ") Pearsonは、ジョージア州オーガスタ在住の登録有権者である。彼はジョージア州を代表して大統領選挙人になるための共和党の候補者である。彼は、*Carson v. Simon*, 2020 US App Lexis 34184 (8th Cir. Oct. 29, 2020)に基づき、この訴訟を提起する権利を有している。彼は、2020年11月20日にジョージア州長官によって認証されたアメリカ合衆国大統領府の選挙結果を無効にし、無効にするためにこの訴訟を提起している。認定された結果は、トランプ大統領よりもジョー・バイデン前副大統領の方が1万2670票の賛成多数だった。

24.

原告Vikki Townsend Consiglioは、ジョージア州ヘンリー郡に住む登録有権者である。彼女はジョージア州を代表して大統領選挙人になるために共和党の候補者である。

25.

原告グロリア・ケイ・ゴドウィンは、ジョージア州ピアース郡在住の登録有権者である。彼女はジョージア州を代表して大統領選挙人になるための共和党の候補者である。

26.

原告ジェームズ・ケネス・キャロルは、ジョージア州ダッジ郡在住の登録有権者である。彼はジョージア州を代表して大統領選挙人になるために共和党の候補者である。

27.

原告キャロリン・ホール・フィッシャーは、ジョージア州フォーサイス郡在住の登録有権者である。彼女はジョージア州を代表して大統領選挙人になるための共和党の候補者である。

28.

原告キャスリーン・アルストン・レイサムは、ジョージア州コービー郡に住む登録有権者である。彼女はジョージア州を代表して大統領選挙人になるための共和党の候補者である。

29.

原告ジェイソン M. シェパードはコブ郡共和党の会長であり、コブ郡
共和党を代表して正式な立場で本訴訟を提起する。

30.

原告ブライアン・ジェイ・ヴァン・ガンディは、ジョージア州グウィネ
ット郡に登録された有権者。ジョージア共和党のアシスタント・セクレタリー
を務めている。

31.

被告ブライアン・ケンプ知事（ジョージア州知事）は、ジョージア州知
事としての正式な立場でここに名を連ねている。2019年6月9日頃、ケンプ知事
は、1億5000万ドルの予算をかけて、ジョージア州の新しいドミニオンの投票
システムを購入した。批判者は、"エイブラムスに導かれて、民主党はこの法案
と戦い、それがジョージアの選挙をハッキングや改ざんの影響を受けやすいま
まにするだろうと警告したサイバーセキュリティの専門家を指摘した"と引用さ
れています。"そして、"ちょうど今週、[ステイシー]エイブラムスによって開始
されたフェアファイト投票権グループは、法案の批判的なテレビ広告を開始し
ました。木曜日の声明では、グループはそれを "その最悪の状態で汚職"と呼ば
れ、"ハッキング可能な投票機"にお金の浪費。

⁷ ジョージア州知事が投票機を置き換えるための法律をインクする、アトランタ・ジャーナル・コンスティテュート、AJCニュース・ナウ、クレジット：Copyright 2019 The Associated Press, June 2019

32.

被告ブラッド・ラッフェンスペルガー（以下「ラッフェンスペルガー長官」）は、ジョージア州の国務長官として、またジョージア州の選挙法典およびO.C.G.A. 21-2-50条に基づきジョージア州の最高選挙責任者として、ここに名を連ねている。Raffensperger長官は、その役職が「[選挙法]を執行する責任を彼に負わせている」ため、その公務権限で訴訟の対象となる州の役人である。Raffensperger長官はジョージア州の州選挙委員会の議長を務めており、同委員会は、(i)選挙職員の慣行と手続きの統一性、およびすべての選挙と総選挙における合法性と純粋性を確保し、(ii)選挙と総選挙の公正、合法、および秩序ある実施を助長するための規則と規則を公布し、施行している。O.C.G.A. §21-2-30(d)、21-2-31、21-2-33.1 を参照のこと。Raffensperger長官は、ジョージア州の最高選挙責任者として、不在者投票制度を含む投票に影響を与える州法の管理にも責任を負う。O.C.G.A. §21-2-50(b)を参照のこと。

33.

被告レベッカ・N・サリバン、デビッド・J・ウォーリー、マシュー・マッシュバーン、アン・レー（以下「州選挙委員会」）は、ジョージア州の州選挙委員会のメンバーであり、「法律に準拠して、以下のような規則や規則を策定、採択、公布する」責任を負っている。

"公正で合法的かつ秩序のある選挙の実施に資するものである"

O.C.G.A. §21-2-31(2)。さらに、州選挙管理委員会は、ジョージア州において、「何が投票を構成し、何が投票システムの各カテゴリーにおいて投票としてカウントされるかについて、統一かつ非差別的な基準を定めるための規則および規則を公布する」。O.C.G.A. §21-2-31(7)。州選挙管理委員会は、個人的に、および管理委員会の従業員、役員、代理人、および使用人の行動を通じて、本訴訟に関連するすべての時点で州法に基づいて行動し、その公式な立場での緊急宣言的および差し止めの救済を求めて訴えられている。

司法権と裁判の場

34.

当裁判所は、合衆国憲法、法律、または条約に基づいて発生したすべての民事訴訟の原始的な管轄権を地方裁判所が有するものとする」と規定する合衆国法典第28編第1331条に基づき、主題管轄権を有しています。

35.

この訴訟は合衆国大統領の連邦選挙に関わるものであるため、本法廷は28 U.S.C. 1343に基づく主題管轄権も有している。"大統領選挙人を任命するための立法スキームからの大幅な逸脱は、連邦憲法上の問題を提示する"*ブッシュ対ブッシュ*

Gore, 531 U.S. 98, 113 (2000)(Rehnquist, C.J., concurring); *Smiley v. Holm*, 285 U.S. 355, 365 (1932)。

36.

宣告的救済を認める裁判所の管轄権は、米国連邦法典第28条第2項および第2202項、ならびに連邦準備制度委員会（Fed.R. Civ.R. Civ.P. 7.

37.

本法廷は、関連するジョージア州憲法の請求および合衆国法28 U.S.C.1367に基づく州法の請求を管轄しています。

38.

ジョージア州では、「立法府」とは総会のことである。Ga.Ga.Const. Art.III、§I、パラ.I.

39.

合衆国憲法は、議会と大統領の選挙の開催時期、場所、方法を定める権限を州議会に留保しているため、ラッフェンスペルガー長官を含むがこれに限定されない州の執行役員には、その権限を一方的に行使する権限はなく、ましてや既存の法律や憲法そのものに違反する権限はありません。

事実の陳述

40.

原告は、権利の剥奪を救済するために、合衆国法第42条第1983条および第1988条、およびジョージア州法第21-2-522条に基づいて本訴訟を提起する。

米国の憲法や法律によって確保された特権や免除、選挙結果を争うこと。

41.

合衆国憲法は、連邦選挙を規制する権限を定めており、憲法はこれを規定している。

上院議員および下院議員の選挙の時期、場所および方法は、各州の立法府が定めるものとするが、議会は、上院議員の選挙の場所に関するものを除き、いつでも法律によって、このような規則を定め、または変更することができる。U.S. CONST.第4条（「選挙権条項」）。

42.

大統領選挙人の任命に関して、憲法は次のように規定している。各州は、その州の立法府が指示する方法で、その州が議会で権利を有する上院議員および下院議員の総数に等しい数の選挙人を任命しなければならない。U.S. CONST.II, 第1条（「選挙人条項」）。

43.

被告はいずれも、選挙条項や選挙人条項で要求されている「立法府」ではない。立法府とは、「国民の法律を決定する代表機関」である。スマイリー 285 U.S. 365.したがって、議会および大統領選挙の規制は、「以下の規定に従わなければならない」とされている。

州が立法制定のために定めた方法である。367 ; *Ariz.州議会対 Ariz.Indepep. Redistricting Comm'n*, 576 U.S. 787, 135 S. Ct. 2652, 2668 (U.S. 2015)も参照のこと。

44.

選挙条項は、「独自の法制化プロセスを決定する州の権限を低下させるために採用されたものではない」が、*Ariz.State Legislature*, 135 S. Ct. at 2677.大統領選挙人を任命するための立法スキームからの大幅な逸脱は、連邦憲法上の問題を提起している」ブッシュ、531 *U.S.* at 113 (Rehnquist, C.J., concurring); スマイリー、285 *U.S.* at 365。

45.

原告はまた、ジョージア州法、O.C.G.A.§21-2-522、争点の根拠に基づいて本訴訟を提起する。

小選挙区または選挙の結果は、次のいずれかの理由で争われることがある。

- (1) 小選挙区または選挙の職員または職員による不正行為、不正行為、または不正行為であっても、結果を変更したり、疑わしいものにしたりに十分なもの。
- (2) 被告が指名・役職を争って不適格となった場合
- (3) 不正な投票が行われた場合、または合法的な投票が投票所で否決された場合は、結果を変更したり、疑わしいと判断したりするのに十分な数の投票が行われました。
- (4) 投票数の数え方や小選挙区または選挙結果の宣言に誤りがあり、そのような誤りが結果を変えることになる場合。

(5) 他の理由で、他の人が合法的に指名され、選出され、またはランオフのプライマリーまたは選挙で競争する資格のある人であったことを示しています。

O.C.G.A. 21-2-522.

46.

O.C.G.A. §21-2-10の下で、大統領選挙人が選出されます。

47.

O.C.G.A. §21-2-386(a)(1)(B)に基づき、ジョージア州立法府は、郡登録官および書記官（以下「郡職員」）に、そこで指示された通りに不在者投票を処理するように指示した。ジョージア州立法府は、不在者投票書記官が「本条で定められた職務を遂行する」ことを確実にするために、不在者投票書記官を任命するために各自治体が使用する手続きを定めた。

48.

ジョージア州選挙法典では、不在者投票を取り扱う者は、明確な手続きを踏むように指示している。

不在者投票用紙を受領したときは、その封筒に投票用紙を受領した日と時間を記入しなければならない。登記官または書記官は、宣誓書に記載された識別情報と、事務所に保管されている情報を比較し、宣誓書に記載された署名やマークと、不在者選挙人の有権者カードに記載された署名やマーク、または不在者選挙人の最新の更新情報を比較しなければならない。の有権者登録カード及び不在者投票申請書、または当該カードまたは申請書から取得した署名または作成者のファクシミリと比較し、情報と署名が有効であり、その他の識別情報が正しいと思われる場合には、署名または署名の下に署名またはイニシャルを入れて証明しなければならない。

有権者の宣誓。選挙人の氏名は、登録官または書記官が、自分の選挙区に作成された不在者名簿に記載するものとする。

O.C.G.A. §21-2-386(a)(1)(B)(強調)。

49.

O.C.G.A. 21-2-386(a)(1)(C)に基づき、ジョージア州立法府はまた、選挙人が投票用紙を封入した封筒の外側にある宣誓書に署名しなかった場合、または署名が登記官または書記官のオフィスにファイルされている署名と一致しないと判断した場合（「欠陥のある不在者投票」）、郡職員が使用するための明確かつ効率的なプロセスを確立した。

50.

ジョージア州立法府はまた、不備のある不在者投票に関して郡職員が従うべき手順を規定しています。

選挙人が宣誓書に署名しなかった場合、署名が有効でないように見える場合、選挙人が必要な情報を提出しなかった場合、または提出された情報が登記官または書記官のオフィスにあるファイルと一致しない場合、または選挙人が投票する資格がないと判断された場合、登記官または書記官は、封筒の表面に「却下」と書いてその理由を記載しなければならない。登記官会または不在者投票書記官は、速やかにこのような拒否を選挙人に通知しなければならず、その通知のコピーは、登記官会または不在者投票書記官のファイルに少なくとも1年間保存されなければならない。

O.C.G.A. §21-2 -386(a)(1)(C)(強調)。

- I. 被告人の無許可の行為は法に違反した。
ジョージア州選挙法とその原因となった処理
欠陥のある欠席者バロット。

51.

適用される法令の明確性およびジョージア州議会の行動に対する憲法上の
権限にもかかわらず、2020年3月6日、ジョージア州長官、Raffensperger長官、
および州選挙を管理する州選挙委員会（以下「管理者」）は、ジョージア州民
主党（Democratic Party of Georgia, Inc.との間で、ジョージア州の不在者投票
を処理する際に書記官や登録官が従うべき異なる基準を定めた"
Compromise and Settlement Agreement and Release"（"
Litigation Settlement"）を締結しました⁸。

52.

しかし、この和解では、管財人は、ジョージア州議会が公布した州の選
挙に関する法律と一致しない方法で、法律で定められた不在者投票の取り扱い
方法を変更することに同意した。

⁸ ジョージア州民主党、他、v. Raffensperger、他、民事訴訟ファイル番号1:19-cv-05028-WMR、ジョージア州北部地区連邦地方裁判所、アトランタ支部、Doc.56-1を参照してください。56-1.

53.

この和解案では、国務長官が郡の管理者に「公式選挙速報」を発行することで、郡の管理者に定められた法定の手続きを上書きすることになっている。しかし、この権限は合衆国憲法の下では国務長官には属さない。

54.

和解はまた、署名要件を変更し、O.C.G.A. 21-2-386(a)(l)の下で法律上要求されている署名要件の施行ではなく、裁量権を持つ広範なプロセスに縮小した。

55.

ジョージア州立法府は、O.C.G.A. S. 21-2-386(a)(1)(B), 21-2-380.1において、不在者投票の取り扱いについて郡の登録者および書記官（以下「郡職員」）に指示した。ジョージア州選挙法典は、不在者投票を取り扱う者に明確な手順に従うよう指示している。

不在者投票用紙を受領した場合、登録官または書記官は、その封筒に投票用紙を受領した日と時間を記入しなければならない。登記官または書記官は、誓約書に記載されている本人確認情報と事務所に保管されている情報を比較し、誓約書に記載されている署名または捺印を、不在者選挙人の有権者カード、または不在者選挙人の有権者登録カードおよび不在者投票申請書の最新版の署名または捺印、またはこれらのカードまたは申請書から取得した署名または捺印者のファクシミリと比較しなければならない。そして、情報と署名が有効であり、他の識別情報が正しいと思われる場合は、署名または署名し、有権者の誓いの下に自分の名前または自分の名前をイニシャルで証明するものとします...

O.C.G.A. S 21-2-386(a)(1)(B)。

56.

ジョージア州立法府は、不在者投票の請求には、選挙人の身元を十分に証明するものを添付しなければならないことを確実にするための手続きを規定した。O.C.G.A. §21-2-38 l(b)(1)を参照のこと（関連する部分では、「登記官事務所または不在者投票書記官事務所で不在者投票に投票する資格があると認められるためには、コードセクション21-2-417 ...に記載されているいずれかの身分証明書を提示しなければならない」と規定している）。

57.

アフィアンは宣誓の下、「署名が確認されていないことや、対応する封筒が現場に見当たらないことも、私にとっては特に興味のあることでした」と証言しました（Exh10, Mayra Romera, par.(Exh.10, Mayra Romera, par. 7として添付）。

58.

プロセスの理由そのものを反映するために、2020年11月3日の大統領選挙に先立って行われた初等選挙では、選挙後に多くの投票用紙が有権者の手元に届いていたことが記録されている。さらに、「数え切れないほどの数の不在者投票の要求が満たされず、何万もの投票用紙が郵送されたが、到着が遅すぎるなどの複数の理由で却下された」ことが確認されています。

数えられていることを確認してください。Associated Press, *Vote-by-Mail worries* を参照。多くの州で漏れたパイプライン、2020年8月8日、2020.⁹

59.

和解に従い、管財人は、O.C.G.A. 21-2-31 条に反する民主党機関の代表者が起草した「追加のガイダンスと訓練資料」という党派に基づく訓練のみを誠意を持って検討し、署名の不一致があったかどうかを判断する責任を委譲した。

B. 欠席者投票用紙の不当な早期処理

60.

2020年4月、州選挙管理委員会は、「緊急の根拠」と称して、州長官規則183-1-14-0.9-.15「選挙日前の投票用紙の処理」を採択しました。この規則の下では、郡の選挙担当者は、選挙日の3週間前までに不在者投票の処理を開始する権限を与えられている。したがって、この規則では、「(1)選挙日前の第3月曜日の午前8時00分から、郡の選挙管理者は、**受理された不在者投票の外封筒を開封する権限を与えられなければならない...**」と部分的に規定されている。強調)。

⁹ <https://apnews.com/article/u-s-news-ap-top-news-election-2020-technology-politics-52e87011f4d04e41bfffcd64fc878e7>

61.

規則 183-1-14-0.9-.15 は、次の事項と直接かつ不可逆的に矛盾しています。

O.C.G.A.§21-2-386(a)(2)は、選挙日まで不在者投票を開くことを禁止しています。

小選挙区、選挙、または本選の投票日の開票後、登録者または不在者投票書記官は、選挙人の誓いが印刷された封筒を、印刷された誓いを破棄しないような方法で開封する権限を与えられるものとする。

強調)。

62.

明白に言えば、法律では選挙日前に不在者投票用紙を開くことは明確に禁止されているが、規則では選挙日の3週間前に開くことが認められている。この矛盾を調整することはできない。州選挙管理委員会は、O.C.G.A.§21-2-31に基づき、合法的かつ合法的な規則や規則を採択する権限を持っているが、明確な法令に直接反する規則を公布する権限はない。したがって、規則 183-1-14-0.9-.15 は、明白かつ明白に違法である。

63.

州選挙管理委員会は2020年11月23日、来る2021年1月の出馬投票選挙に向けて、規則183-1-14-0.9-.15を再採択した。

C.不当な監査手続き

64.

ラッフェンスペルガー長官によると、大統領総選挙ではジョージア州でドナルド・J・トランプ大統領に245万7,880票、ジョセフ・R・バイデン大統領に247万2,002票が投じられ、直近の再集計でドナルド・トランプ氏有利に狭まった。

65.

ラッフェンスペルガー長官は、ハンドリカウントのために宣言した。

監査をトリガーとしたフルハンド再集計を実施する際に郡に与えられた指示により、指定されたモニターには、最初からプロセスを観察するための完全なアクセス権が与えられます。監査をトリガーとした再集計は、一般市民とメディアに公開されなければなりません。指定されたモニターは、より詳細に観察することができます。一般市民と報道機関は、パブリックビューイングエリアに制限されます。指定されたモニターは、再集計を行う選挙作業員の近くに立ちながら、再集計を監視することができるようになります。

各政党は、各郡の監査委員会10人に対して各政党1人の割合で、各郡につき最低2人の監視員を指定することが許されています。再集計が公正かつ確実に行われることを確認するために監視することができるだけでなく、手による再集計を行う2人の監査委員会は、再集計の際に票を呼び出すことができる。

このため、モニターや一般の人々にプロセスを監視するための追加の方法を提供しています。¹⁰

¹⁰ ブラッド・ラッフェンスペルガー事務所、監査をトリガーとしたフルハンド再集計をモニターが注意深く観察。透明性はプロセスに組み込まれている、https://sos.ga.gov/index.php/elections/monitors_closely_observing_audit-

triggered_full_hand_recount_transparency_is_built_into_process.

66.

監査は、O.C.G.A.§21-2-498に基づいて実施された。このコードセクションは、監査が「公開の場で」完了することを要求し、州選挙管理委員会が監査を管理するための規則を公布する権限を与えている。

67.

原告は、民主党が多数派を占める郡が、トランプ・キャンペーンを含む政党や候補者に対して、投票前の会議中に郵送された投票用紙の有効性を確認し、評価するための意味のあるアクセスや実際の機会を提供しなかったことを示すことができます。監査や再集計の間、彼らはトランプ票がバイデンの山に入れられるのを目撃した。

68.

非当事者のAmanda ColemanとMaria Diedrichは、ハンドリカウトでジョージア共和党（"Republican Party"）に代わって、Donald J. Trump Presidential Campaign, Inc.の指定モニターを務めるためにボランティアで参加した2人の個人です。(以下、「トランプ・キャンペーン」)の指定モニターとして、ジョージア共和党(以下、「共和党」)を代表して、ハンドリカウトでボランティア活動を行った二人の個人です。(1)原告の一時的な接近禁止命令の申し立てを支持するAmanda Colemanの宣誓供述書(以下「Coleman宣誓供述書」という。)、及び(2)原告の支援するMaria Diedrichの宣誓供述書(以下「原告の支援するMaria Diedrichの宣誓供述書」という。)の真正なコピーであ

る。

一時的な接近禁止命令のための申立書（以下「Diedrich Affidavit」という。

(Exh. 11, Coleman Aff.2; Exh. 12, Diedrich Aff.2参照)

69.

宣誓供述書には、Coleman氏とDiedrich氏がハンドリカウントを監視している間に個人的に観察した、連邦犯罪に相当するさまざまな行為、明らかな不正、不備、および郡職員による投票用紙の不適切な取り扱いが記載されている（Exh.11 Coleman Aff, 3-10、Exh.12 Diedrich Aff, 4-14を参照）。

(Exh. 11, Coleman Aff. 3-10; Exh. 12, Diedrich Aff. 4-14を参照)。

70.

共和党モニターとしてハンド・リカウントを観察した結果、Diedrich氏は、ハンド・リカウントで「いかなる活動もレビューまたは監査する意味のある方法がなかった」と宣言した（Exh 12、14参照）。(Exh. 12, Diedrich Aff.,14参照)。

71.

コールマン氏は、共和党モニターとしてハンドリカウントを観察した結果、同様に「どのカウントも正確かどうか、活動が適切かどうかを判断する方法がなかった」と宣言した（Exh. 12, Coleman Aff.

72.

選挙の日、共和党の世論調査員が期間限定で、様々な投票所に立ち会って観察することが許されたとき、彼らは

選挙管理者が、他の問題の中でも特に重要な2つの要件に関連する法定の義務に従わなかった数多くの事例を観察し、報告しています。

(1) 選挙の日に投票所で投票用紙を投函し、直接投票する権利

(2) 郵送投票がすでにそれらのために受信されているが、彼らは早期投票中に個人的に投票しようとしたが、彼女はすでに投票したと言われたそれらの郵送投票を投じなかったときに選挙の日に暫定的に投票する有権者のための機能; 彼女はしていなかったことを強調しました。彼女は投票していないことを強調した。店員は彼女に、彼女の名前を使って誰がどのように投票したかについて何の説明もなく、手動で彼女を追加すると言った。(Exh. 13、Aff. Ursula Wolfとして添付)

73.

このような状況の中で、私は、「いかなるリカウンターや個人も再集計に参加して署名を確認するのを目撃したことはなかった」と証言した。"このように、私は、「リカウンターまたは個人が再集計に参加して署名を確認するのを目撃したことは一度もない」と証言した (Exh.

74.

いくつかの郡では、ハンドリカウントの間、実際の「手」での投票の再集計は行われず、郡職員とその職員が行った

は単に同じ投票用紙を別の機械でカウントしただけである。(Exh.9,10参照)。

これでは、原告が訴えている大規模な不正行為が明らかになることはない。

75.

多数の投票用紙は同一のものであり、不正なものである可能性が高い。アフィアンは、全く原始的な投票用紙を観察したと説明しています。

14. ほとんどの投票用紙はすでに処理されていて、人が書いたもので、端が摩耗していました。明らかに使用されていた。しかし、1つの投票用紙が目立っていた。それは原始的なものでした。紙の質感に違いがあり、不在者用に使用されていないかのようだ。手触りが違う。

15. これらの異なる投票用紙には、スキャン機で使用するために簡単に折りたたんだり広げたりできるように、前折りが少し窪んでいるものがありました。投票用紙には、どこから来たのか、どこで処理されたのかを示すマークはありませんでした。これらが目立っていました。

16. 私の20年間の投票用紙の取り扱い経験の中で、これらの投票用紙の候補者のマークは、おそらく投票マーク装置を使用しても、異常に均一であることを観察しました。これらの投票用紙を観察した私の推定では、約98%がジョー・バイデン氏への投票であった。私が観測した投票用紙のうち、ドナルド・J・トランプ大統領への投票と思われるのは2枚だけである。(添付のExh.15参照)。

76.

同じアフィアンはさらに、選挙の前夜に投票機の保管の連鎖の違反について具体的に証言しています。

私たちは通常、選挙の前の金曜日に投票機、投票用紙のマーキング装置を受け取り、日曜日に署名するChain of Custody Letterに署名して、機械を受け取ったときに機械と機械上のカウントを受け取ったことを示し、機械が封印されていることを確認します。今回のケースでは、選挙日の午前2時まで機械が届いていないにもかかわらず、日曜日にChain of Custody Letterに署名するよう求められました。

ミルトン管区は、選挙の日の午前1時にそのマシンを受け取りました。これは受け入れがたいことであり、投票機は選挙日の前に保管から外されるべきではありません。選挙日前に投票機が保管されるべきではない。

II. 不正の証拠

誤りのないことを示すパターン

77.

詐欺の性質と行為の驚くべきパターンは、間違いがないことを示しています。

78.

同じアフィアンは宣誓証言でさらに説明しています"機械を受け取った時、密封されていなかったり、ロックされていなかったり、シリアル番号が関連書類に反映されていなかったり..."参照してください。

79.

宣誓人は、「ヘンリー郡にいる間、私は個人的にドナルド・トランプに投じられた投票用紙がジョセフ・バイデンのために山積みになっているのを目撃し、これがテーブル"A"で起こるのを目撃した」と証言しています。(Exh. 14, par. 27参照)。

80.

アフィアンはさらに、「このことがピッツさんに注意を向けられたとき、それは極度の敵意に満ちていた」と証言しています。私は、ジョセフ・バイデ

ンのために投じられたいかなる投票も、ドナルド・トランプのための山の中に置かれるのを目撃したことはありませんでした。(Exh. 14, par. 28を参照)。

81.

郵送投票および不在者投票の再集計プロセスにおける別のアフィアンは、宣誓供述書の中で、「2020年11月16日に.....署名が確認されておらず、対応する封筒が見当たらないことも、私にとっては特に関心のあることでした」と証言している。(Exh. 10, at Par. 7参照)。

82.

また、別のアフィアンは、再集計の過程で、公開郵送による再集計中にオブザーバーとのルールを守らなかったことを指摘した際に、何か悪いことをしたかのように脅されたと証言しています。

"しかし、観察者として観察したところ、境内には12人がいた(12)のテーブルをカウントしたが、共和党からのモニターは1人だけだった。エリカ・ジョンストンに報告しました再集計規則では10テーブルまたはその一部につき各党から1名のモニターが....

(添付のExh.16、Ibrahim Reyes Aff参照)

83.

別のアフィアンは、バーコードを用いた不在者投票の再集計のオブザーバーとしての立場から、憂慮すべき行動パターンを説明していると証言している。

私は、2人の世論調査員が、すでに分離されたバーコード付きの紙の機械のレシート投票用紙を、トランプのトレイに入れて、バイデンのトレイに入れているのを目撃しました。私はまた、同じ2人の投票作業員が、すでに分離された紙のレシート投票用紙を

そして、「No Vote」と「Jorgensen」のトレイを取り出してバイデンのトレイの中に入れ、バイデンのトレイからすべての投票用紙を取り出してテーブルの上に積み上げ、カウント投票用紙に書き込んでいました。

添付のExh.17、4-5、Consetta JohsonのAff.を参照してください)。

84.

別のアフィアン（民主党員）は宣誓供述書の中で、彼が見えない場所に戻ることを余儀なくされる前に、実際に「トランプ氏の不在票がバイデンのスタックに挿入され、バイデンの票としてカウントされるのを見た」と証言しています。このようなことが数回あった」という。別紙添付、Exh.18 at Par.12、Carlos SilvaのAff.参照)。

85.

さらに別のアフィアンは、プロセスの欠如と共和党への敵意だけで、平等保護の違反であると証言した。 Clause. 彼は証言した。

私はまた、アトランタでの3日間を通して観察しましたが、誰もこれらの投票用紙を確認したことは一度もありませんでした。実際、認証プロセスは行われておらず、封筒も観察されていませんでしたし、観察されることも許されていませんでした。共和党の監視員には敵意を持っていましたが、民主党の監視員には敵意を持っていませんでした。両方ともバッジで識別されていた。

13-14 頁参照)。

86.

別のアフィアンは、自分の投票用紙が選挙法に従って処理されていなかっただけでなく、投票用紙をどこに置くかを定めるために投票用紙を見ている人

を目撃し、投票用紙のプライバシーが侵害されたと説明した。

有権者詐称ラインに報告しようとしたが、連絡も協力もなかったという。

"私は10月12日にリンウッド公園で 早期投票をしました... 投票所で不正があったので 投票者詐欺ラインに電話しました 私の投票用紙をどこに置くかを決めるために 誰かが投票用紙を調べていた理由を 尋ねました私が州の不正ラインに電話した時、私は州の長官のオフィスの労働者に指示されました..."

(Attached hereto, Exh.19, Andrea ONeal Aff, at par.3参照)。

87.

彼はさらに、彼がリトニアでオブザーバーをしていたとき、多くの不正を見たと言証し、特に「監査人がバイデンの票を集めて10個の投票用紙を並べ替えるのを見たが、[監査人は]誰にも見せなかった。8 ページに記載されています。

88.

別のアフィアンは、不正行為を構成するであろう、投票用紙の異なる使用について証言した。

私がレビューした投票のほとんどすべてがバイデンのためだったことに気づきました。多くのバッチは100%バイデンのために行きました。私はまた、少なくとも3つの投票用紙の透かしが透明ではなく灰色であることを観察し、投票用紙が偽造されていると信じさせられました。私はこれに挑戦し、選挙ディレクターは、それが合法的な投票用紙であり、異なる印刷機を使用したことが原因であると言いました。多くの投票用紙にはバイデン氏のみマークがあり、残りの投票用紙には何のマークもありませんでした。

添付のExh.20, Aff of Debra J. Fisher, at pars. 4, 5, 6参照) 。

89.

あるアフィアンは、監査の際に、「ヘンリー郡にいる間、私は個人的にドナルド・トランプに投じられた投票用紙がジョセフ・バイデンのために山積みになっているのを目撃しました。私はこれを「Aテーブル」で目撃した」と証言しています。(Exh. 22, Kevin Peterford, at par. 29として添付されているのを参照してください)。別のアフィアンは、「私は、2人の投票作業員が、すでに分離されたバーコード付きの紙の機械のレシート投票用紙をトランプのトレイに置き、それをバイデンのトレイに入れるのを目撃した」と証言しています。私はまた、同じ2人の投票作業員が、すでに分離された紙のレシートを「No Vote」と「Jorgensen」のトレイに入れ、それらを取り除いてバイデンのトレイの中に入れていたのを目撃しました。(Exh. 17, Johnson, pars. 4-5参照)。

90.

別のアフィアン（民主党員）は宣誓供述書の中で、見えない場所への移動を余儀なくされる前に、実際に「トランプ氏の不在者投票用紙が挿入されているのを見た」と証言しています。

をバイデンのスタックに入れてバイデンの票としてカウントしました
これは数回発生した」。(Exh.18, Par.12参照)。

91.

ジョージア州の選挙再集計の共和党全国委員会のモニターであるヘイル・スーシー氏は、潜入記者に「投票用紙を数えている人の中には、継続的にミスをしている人がいる」と語った、とオキーフ氏は書いています。プロジェクト・ベリタス、ウォッチプロジェクト・ベリタスの最新ビデオで明らかになった「ジョージア州でトランプ氏のための複数の投票用紙がバイデン氏に送られた¹¹

B.投票機、秘密主義

ジョージア州内の投票機で使用されているソフトウェアは非常に危険です。

92.

連邦法と州法のこれらの違反は、2020年11月3日の選挙に影響を与え、意図的な不正行為、操作、およびその後続くミスの欠如の証拠のための前提条件を設定しました。これらの法律違反の共通性と州全体の性質は、合法的な投票の証明を不可能にし、即時に保証します

¹¹ <https://hannity.com/media-room/watch-latest-project-veritas-video-reveals-multiple-votes-for-trump-in-georgia> 投票はトランプのためにバイデンのジョージア州で行われました。

ジョージア州全域で使用されている投票機とソフトウェアの専門家による検査と検索に使用されているソフトウェアの押収。

93.

ネットワークと情報のサイバーセキュリティ専門家であるアフィアンは、宣誓証言の中で、Dominion Voting Systems Democracyソフトウェアのユーザーマニュアルを研究した後、スキャンされた投票用紙に関する情報がDominionのソフトウェアシステム内で追跡できることを知ったと説明しています。

(a) 大量の投票用紙のスキャンおよび集計が開始されると、「ImageCast Central」ワークステーションのオペレータは、スキャナのフィードトレイに投票用紙のバッチをロードし、ソフトウェアメニュー内のスキャン手順を開始する。その後、「ImageCast Central」ソフトウェアアプリケーションがリアルタイムで投票を集計している間に、スキャナはフィードトレイに読み込まれた投票用紙のスキャンを開始します。スキャンされた投票用紙に関する情報は、「ImageCast Central」ソフトウェアアプリケーション内で追跡することができます。

(添付のExh 22、ロナルド・ワトキンスの宣言、11頁参照)。

94.

Affiant社はさらに、中央オペレータが投票のバッチを削除したり、破棄したりすることができることを説明しています。"スキャナのフィードトレイに読み込まれたすべての投票用紙がスキャナを通過した後、「ImageCast Central」のオペレータは、トレイから投票用紙を取り出し、スキャンメニュー で「バッチを受け入れる」または「バッチを破棄する」のいずれかを選

扱することができます。"*Id.* at par. 8)。

95.

さらにアフィアンは、Dominion/Smartmatic のユーザーマニュアル自体が、投票先を裁量的に決定するために、すべての投票用紙を「問題のある投票用紙」としてマークするようにしきい値を設定できることを明らかにしていると証言しています。マニュアルには次のように記載されています。

スキャンプロセスの間、「ImageCast Central」ソフトウェアは、投票者がオーバルをどの程度の割合でカバーしているかを検出します。ドミニオンのお客様は、有効な投票とみなされるために、オーバルがマークで覆われている必要がある閾値を決定します。顧客が設定した特定のしきい値を満たしていない余白マークがある投票用紙は、「問題のある投票用紙」とみなされ、「NotCastImages」という名前のフォルダに保存されることがあります。楕円形のカバレッジのしきい値の設定を工夫することで、非常に多くの投票が「問題のある投票」とマークされて「NotCastImages」フォルダに送られるようにしきい値を設定することが可能になります。ImageCast Central ワークステーションの管理者は、標準の「Windows ファイルエクスプローラ」を使用して、「問題のある投票」の投票用紙のスキャンを保持する「NotCastImages」フォルダに移動するだけで、「問題のある投票」と判断されたスキャンされた投票用紙のすべての画像を表示することができます。ImageCast Central ワークステーションの管理者は、Windows 10 Proオペレーティングシステムが提供する標準のWindows 削除およびごみ箱機能を使用するだけで、「NotCastImages」フォルダ内の個々の投票用紙スキャンを表示して削除することができます。

9-10に記載されています。9-10.

96.

アフィアンは、さらに、結果フォルダ内で承認された選択された投票用紙のコピーが作成された場合のシステムの脆弱性について説明している。

フラッシュメモリカードに - そして、それはWindowsコンピュータに接続されていることを述べています。

ImageCast Central」ワークステーションの管理者は、*Windows 10 Pro*オペレーティングシステムが提供する標準のWindows削除およびごみ箱機能を使用するだけで、「*NotCastImages*」フォルダ内の個々の投票スキャンを表示および削除することができます。... アップロードプロセスは、投票集計を含む"結果"フォルダを"*Windows 10 Pro*"マシンに接続されたフラッシュメモリカードにコピーするだけの簡単なものです。コピープロセスは、ユビキタスな"*Windows* ファイルエクスプローラ"内の標準的なドラッグ&ドロップまたはコピー&ペーストメカニズムを使用しています。単純な手順ではありますが、このプロセスはエラーが発生しやすく、**悪意のある管理者には非常に脆弱です。**

11-13 (強調されている。11-13 (強調表示))。

97.

それは"月曜日、[2019年7月29日]、[ケンプ知事は]ドミニオンの投票システムに新しい投票機3万台の契約を授与し、州の17年前の電子投票装置をスクラップし、紙の投票用紙を印刷するタッチスクリーンに置き換えることを発表した。"¹² 批評家は引用されています。"エイブラムスに導かれて、民主党議員はこの法案と戦い、サイバーセキュリティの専門家を指摘し、ジョージアの選挙がハッキングや改ざんの影響を受けやすくなると警告した。そして、"ちょうど今週、フェアファイトの投票権グループは、[ステイシー]エイブラムスによって開始されたテレビ広告を開始しました。

¹² *Georgia Buys New Voting Machines for 2020 Presidential Election, by Mark Niese, the*

Atlanta Journal-Constitution, July 30, 2019, <https://www.ajc.com/news/state--regional-govt--politics/georgia-awards-contract-for-new-election-system-dominion-voting/tHh3V8KZnZivJoVzZRLO4O/>.

この法案に批判的な木曜日の声明では、グループはそれを「最悪の腐敗」と呼び、「ハッキング可能な投票機」のお金の無駄遣いと呼んでいます。

98.

さらに2019年には、ジョージア州の新しいドミニオンの投票機「[w]ジョージア州の現在の投票システムでは、結果を確認するための紙のバックアップがないため、電子投票が有権者の選択を正確に反映していることを保証する方法がない」と報告されていました。

(a) 直録型電子投票機では、元々発生していた数字を再現しているだけなので、リカウントは意味がありません。

(b) しかし、紙の投票用紙だけでは、投票マーク装置と呼ばれる新しいタッチスクリーンでの選挙の神聖性を守ることはできません。

(c) 新しい選挙システムは、有権者が投票用紙に印刷された選択肢の文字を確認することに依存していますが、多くの有権者はそのステップを踏まないかもしれません。州選挙管理委員会は、再集計と監査がどのように行われるかについての規則をまだ作成していない。また、紙の投票用紙には、スキャン機でしか読めないバーコードで選択肢が埋め込まれており、ジョージア人はバーコードが自分の投票と一致するかどうかわからないままになっている。¹⁴

¹³ *Georgia Governor Inks Law to Replace Voting Machines, The Atlanta Journal-Constitution, AJC News Now, by Greg Bluestein and Mark Niesse, June 14, 2019; Credit: Copyright 2019 The Associated Press, June 2019*

- i. 自由で合法的な選挙において、原告、候補者及び有権者の投票結果を改ざんせずに詐取するための計画及び策略の一環として、被告及びその他の既知及び未知の者は、以下のような法律違反を犯した。

合衆国法律集第 50 編第 20701 条は、罰金および懲役の刑罰の下で、選挙管理者による記録および書類の保持および保存を要求しています。

§ 20701. 選挙管理者による記録および書類の保持および保存、保管者への預託、違反の罰則

すべての選挙管理官は、プエルトリコ連邦の大統領、副大統領、大統領選挙人、上院議員、下院議員、または住民委員の候補者が投票された総選挙、特別選挙、または小選挙の日から 22 カ月以内に、申請、登録、投票税の支払いに関するすべての記録および書類を保持し、保存しなければならない。ただし、法律で要求された場合には、そのような記録および書類は他の選挙管理人に引き渡すことができ、また、州またはプエルトリコ連邦がこれらの記録および書類を指定された場所で保管し保存するために保管人を指定した場合には、そのような保管人に預けることができ、預かった記録および書類を保管し保存する義務は、そのような保管人にあるものとする。選挙の役員または管理人が故意に本項に従わなかった場合、1,000ドル以下の罰金または1年以下の懲役、またはその両方を科されるものとする。

50 U.S.C. 20701.

99.

選挙では、「州の投票システムに新しい技術やプロセスが急速に導入されたことで、以下のようなリスクが高まる」ことが確認されています。

外国からの干渉やインサイダーの改ざんなどの脅威がある。単純な人為的ミスや政治的利益のための局所的な工作の方が脅威となる可能性が高いとしても、それは真実である¹⁵。

100.

2016年のペン・ウォートンの研究では、「有権者と政府の代表者は、しばしば注目度の高い投票問題のニュースに促されて、投票プロセスの信頼性と完全性についても懸念を表明し、利便性を向上させるためにラップトップやタブレットなどの最新技術の利用を求める声が高まっている」と結論づけています¹⁶。

101.

上記のようなDominion Democracy Suiteの欠陥や特徴の証拠として、同じDominion Democracy Suiteは、2020年1月24日に、効率性と正確性の証拠がなく、詐欺や不正操作から安全であることを具体的に理由に、テキサス州の長官から認証を拒否されました。¹⁷

¹⁵ See *Threats to Georgia Elections Loom Despite New Paper Ballot Voting*, By Mark Niese, *The Atlanta Journal-Constitution* and (*The AP, Vote-by-Mail worries.A leaky pipeline in many states, August 8, 2020*) .)

¹⁶ Penn Wharton Study by Matt Caufield, *The Business of Voting*, 2018年7月.

¹⁷ 2020年1月24日、国務長官室選挙部によるDominion Voting Systems Democracy Suite

5.5-A Elections Divisionのレビュー報告書のコピーを添付します。

102.

原告はそれ以来、ドミニオンのシステムの「不具合」、つまりトランプ氏から票を奪い、バイデン氏に票を移すという一律の効果があることを知り、マスコミで広く報道され、独立した専門家の分析によって確認されています。

103.

原告は、専門家や事実関係の証人を通じて、そのことを示すことができます。

c. Dominion/Smartmaticのシステムには、エンドユーザーに大規模な脆弱性が存在する。

1. 地上のユーザーは、マシンとソフトウェアの完全な管理者権限を持っています。選挙を「不正操作」するために作られたドミニオンのシステムは、脆弱性を容易にし、選挙でどの票がカウントされるかを一部の人が決定できるように設計されています。作業員は投票所から集金所に投票データを移動させ、正しいフォルダに入力する役割を担っていました。ペンの滴り落ちや出血などの異常があれば、投票用紙は否決されます。そして、投票用紙は投票員に渡され、分析され、数えるべきかどうか判断されます。これは、純粋な裁量と不適切な投票の「裁定」のための大規模な機会を作り出します。
2. 宣誓証言の中で、宣誓証言者である証人（名前は安全上の理由¹⁸）は、彼はベネズエラ大統領の国家保安警備隊に選ばれ、ベネズエラの独裁者ヒューゴ・チャベスが選挙に負けることがないようにするための選挙投票操作を目的としたスマートマティックの作成を目撃し、それが機能するのを見たと言明している。同上。

"この陰謀の目的は、選挙の票を反対票から変えられる投票システムを作り、運用することでした

"ベネズエラ政府の支配権を維持するために" "ベネズエラ政府を動かしている人物に 有利な投票をさせる"

(Exh.2, pars. 6, 9, 10 参照)。

104.

Smartmaticの創業者と発明者は、ベネズエラとセルビアを含む海外とのつながりを証明する経歴を持っており、特にその発明者が特定されています。

申請者 SMARTMATIC, CORP.

発明者リノ・イグレシアス、ロジャー・ピナテ、アントニオ・ムギカ、ポール・バビック、ジェフリー・ナベダ、ダニー・ファリーナ、ロドリゴ・メネス、サルバドール・ポンティチェリ、ジゼラ・ゴンカルベス、イレム・カルーソ¹⁹

105.

外国人が所有する米国内のSmartmaticや、ドイツに法律顧問室などの事務所を持つカナダのDominionの存在は、CFIUSの承認を得なければならないだろう。CFIUSは、1950年の防衛生産法のエクソンフロリオ改正により1988年に設立された。CFIUSの認可法は、2007年の外国投資・国家安全保障法

(Foreign Investment and National Security Act of 2007 (FINSIA)) によって改正された。

改正後、DPA の第 721 条は、「大統領が [CFIUS] を通じて行動し、米国の国家安全保障に及ぼす取引の影響を判断するために、対象取引を審査する」ことを指示しています。§ 50 U.S.C. app. 2170 条 (b)(1)(A)。第721条は以下のように定義している。

19 <https://patents.justia.com/assignee/smartmatic-corp>

を「米国内で州際通商に従事する者の外国支配をもたらす可能性のある外国人による、または外国人との間の合併、買収または買収」として対象取引を定義している。§ 2170(a)(3). *Ralls Corp. v. Comm. on Foreign Inv.* , 758 F.3d 296, 302, 411 U.S. App. D.C., 105, 111, 111.D.C. 105, 111, (2014).第 721 条の下での対象取引のレビューは CFIUS から始まる。前述の通り、CFIUS は財務長官が議長を務め、そのメンバーには、様々な連邦政府機関の長や、外交政策、国家安全保障、経済に責任を持つその他の政府高官が含まれている。

106.

その後、キャロリン・マローニー下院議員は、2006年10月6日、ヘンリー・M・ポールソン・ジュニア財務長官に宛てて、Dominion/Smartmatic のベネズエラでの腐敗した起源、所有権、管理を理由に、CFIUS による承認に異議を唱える書簡を書いた (Ex.24, Carolyn Maloney Letter, October 6, 2006)。(2006年10月6日の Carolyn Maloney Letter, Exh.24 を参照)。私たちの最も重要な投票権に対する外国からの干渉について、私たちの政府は以前から知っており、無能、怠慢、故意の盲目、あるいはひどい汚職のいずれかで対応してきました。すべてのCFIUSのケースでは、2つのTS/SCIレポートが作成されています。

1つは脅威に関するODNIによるもので、もう1つは重要インフラへのリスクに関するDHSによるものです。Smartmaticは、それにもかかわらずCFIUSによって承認されたときには既知の問題でした。

107.

2006年のウォール・ストリート・ジャーナル紙が調査したところ、

「Smartmaticは2004年に同社のマシンが使用された際に注目を浴びるようになった」ことが判明しました。

チャベス大統領をリコールする選挙でチャベス氏が圧勝し、ベネズエラの野党は不正行為が横行していると言っていました。

スマートマティック社は、リコール選挙を行うためのコンソーシアムを結成し、その中にはスマートマティック社のオーナーが多額の出資をしている Bizta Corp. という会社も含まれていた。一時期、ベネズエラ政府はローンと引き換えに、Bizta社に28%の株式を保有していた。しかし、チャベス政権による Smartmatic の支配に対する非難は尽きることがなく、特に Smartmatic は、米国に拠点を置き、ベネズエラの子会社を持つという単純な企業構造を破棄し、はるかに複雑な組織構成に変更した。同社は税務上の理由からこの変更を行ったと述べていますが、キャロリン・マローニー下院議員（ニューヨーク州D.D.）やテレビジャーナリストのルー・ドブス氏をはじめとする評論家たちは、チャベス政権との関連性が疑われるとして同社を叩きました。同氏は、チャベス政権との関連性を指摘して同社を叩きました。Smartmatic が同社を買収して以来、Sequoia の売上高は急増し、2006年には2億ドルに達すると予想されている、と Smartmatic の最高経営責任者 Anthony Mugica は述べています。と述べています。

108.

実際、コブッチ氏は宣誓供述書を通じて、ベネズエラで生まれ、アントニオ・ムギカとはいとこ同士であり、彼には

²⁰ *WSJ.com, Smartmatic to Sell U.S. Unit, End Probe into Venezuelan Links, by Bob Davis, 12/22/2006, <https://www.wsj.com/articles/SB116674617078557263> を参照。*

Anthony Mugicaが2000年にSmartmaticを米国で法人化し、ベネズエラの他の家族が所有者として記載されているという事実について個人的な知識を持っています。彼はまた、Anthony Mugicaがベネズエラで行われた2004年の国民投票でチャベス氏の当選を確実にするためにSmartmaticを操作したという個人的な知識を持っています。彼はまた、Anthony Mugicaが2003年から2015年までの間にベネズエラ政府から数千万ドルを受け取り、Smartmaticの技術が米国を含む世界中に実装されるようにしていたことを宣誓供述書を通じて証言しています（添付ファイルExh.25、Juan Carlos Cobucci Aff.参照）。

109.

別のアフィアンの証人は、ベネズエラで、選挙に関する公的な立場にいた彼女が、チャベス大統領の罷免を阻止するための請願書の操作を目撃し、抗議したために略式解雇されたと証言しています。私たちの秘密証人の証言を裏付けるもので、私たちの証人であるコブチ氏は、スマートマティックを始めたアンソニー・ムギカ氏の従兄弟であり、この証人は、電子投票システムとスマートマティックのこのような操作に対する脆弱性を説明しています。(Exh.3, Diaz Cardozo Aff参照)。

110.

文書化または報告されている問題のシステムの具体的な脆弱性には、以下のようなものがあります。

- a. バーコードは、有権者の投票を上書きすることができます。カリフォルニア大学バークレー校のある研究によると、「[ドミニオンの投票システムを含む]これらの3つのマシンのすべてでは、投票用紙のマーキングプリンタは、マークされた投票用紙を添付された投票箱に投函するメカニズムと同じ紙のパス内にあります。これは非常に深刻なセキュリティ上の脆弱性を開きます。投票機は、有権者が最後に紙を見た後に紙の投票用紙を作成し（投票を追加したり、既に投じられた投票を台無しにしたりのため）、その印のついた投票用紙を検出される可能性なく投票箱に投函することができます。(Exh.7 参照)。²¹
- b. 投票機は明らかにインターネットにアクセス可能なノートパソコンを使ってインターネットに接続することができた。1台のノートパソコンがインターネットに接続された場合、管区全体が危険にさらされることとなります。
- c. 私たちは...少なくともいくつかの管轄区域では、システムがオンラインであることを認識していないことを発見しました」と、他の9人と調査を行った独立系セキュリティコンサルタントのケビン・スコグランド氏は述べています。バイス。2019年8月²²

²¹ 投票標示装置 (BMD) は有権者の意志を保証できない, Andrew W. Appel, Richard T. DeMillo, カリフォルニア大学バークレー校, 12/27/2019.

²² *Exclusive. Critical U.S. Election Systems Have Been Left Exposed Online Despite*

*Official Denials, Motherboard Tech by Vice, by Kim Zetter, August 8, 2019,
<https://www.vice.com/en/article/3kxzk9/exclusive-critical-us-election-systems-have-been-left-exposed-online-despite-official-denials>*

- d. 2006年10月6日 - Carolyn Maloney 下院議員は、Henry Paulson 財務長官に対し、Smartmatic の海外所有権とベネズエラとの関係に基づいて調査を行うよう求めた。(Exh.24参照)
- e. マローニー下院議員は、「Smartmatic が外資系企業であり、セコイアを買収したことは議論の余地のない事実です... Smartmatic は現在、ベネズエラの実業家 Antonio Mugica が Smartmatic の支配権を持っていることを認めています、同社は他のすべての Smartmatic の所有者が誰であるかを明らかにしていません。と述べています。
- f. ドミニオン社は、不正行為の疑惑をめぐって使用した複数の子会社と「トラブルに巻き込まれた」という。英AccessWire²³が発表したレポートによると、子会社の1つは「過去10年間、米国市場で重要な役割を果たしてきた」スマートマティック社。
- g. Smartmaticの「不具合」をめぐる訴訟では、2010年と2013年のフィリピンの中間選挙に影響を与え、不正行為や不正行為の疑いが浮上したとされています。このマシンに使用されているソースコードの独立したレビューでは、複数の問題が発見され、「このソフトウェアは、以下のよう
- に結論づけられています。

²³ 米国のVoting Technology Companies in U.S. - Their Histories and Present Contributions, Access Wire, August 10, 2017, <https://www.accesswire.com/471912/Voting-Technology-Companies-in-the-US--Their-Histories>.

Smartmatic が提供するインベントリは不十分であり、ソフトウェアの信頼性が疑問視されている。

- h. ドミニオンは、Sequoia Voting SystemsとPremier Election Solutionsを買収しました（以前はDieboldの一部でしたが、2009年にPremierをES&Sに売却し、独占禁止法の問題でES&SがPremierを売却し、その後Dominionに買収されました）。²⁵
- i. ドミニオンは2009年にスマートマティック社と契約を結び、2010年のフィリピン選挙で使用されたPCOSマシン（光学式スキャナー）をスマートマティック社に提供しました。国際社会は、フィリピン初の選挙の自動化を歓迎しました。²⁶ 投票結果の送信は、投票終了から4時間後には90%の投票率に達し、フィリピン人は選挙日に誰が新大統領になるのかを初めて知ることができた。現地の選挙法の要件に従い、Smartmatic とDominion は、以下のソースコードを提供するよう求められました。

²⁴ *Smartmatic-TIM running out of time to fix glitches, ABS-CBN News, May 4, 2010*
<https://news.abs-cbn.com/nation/05/04/10/smartmatic-tim-running-out-time-fix-glitches>

²⁵ *The Business of Voting*, Penn Wharton, Caufield, p. 16.

²⁶ *Smartmatic-TIM running out of time to fix glitches, ABS-CBN News, May 4, 2010*
<https://news.abs-cbn.com/nation/05/04/10/smartmatic-tim-running-out-time-fix-glitches>

選挙の前に投票機を使用して、独立して検証できるようにしました。²⁷

- j. 2019年12月下旬には、3人の民主党上院議員、ウォーレン、クロブチャー、ワイデン、下院議員マーク・ポカンは、「秘密主義&「トラブルに悩まされる企業」が「利便性を優先してセキュリティを長くサボっている」という彼らの「こだわりのある懸念」について書いていますが、その文脈では、3つの大きなベンダーである投票機システムをどのように説明しています - Election Systems & Software、Dominion Voting Systems、Hart InterCivicの3つの大手ベンダーが、米国内の有権者の90%以上に投票を促す投票機とソフトウェアを提供していることをまとめて説明しています。S.”(ウォーレン上院議員、Klobuchar、Wydenの2019年12月6日の書簡のコピー、Exh.26として添付されたものを参照してください)。
- k. ロン・ワイデン上院議員 (D-オレゴン州) は、今回の調査結果について、「民主主義を守る事よりも、利益を得る為に選挙を行う業者を非難するものである」と述べ、「重要なサイバーセキュリティの決定は、郡に委ねられるべきではないという考えへの非難でもある」と述べました。また、この調査結果は、「重要なサイバーセキュリティの決定は、全て県に委ねられるべきであるという考えに対する非難でもある」と述べました。

²⁷ おそらく、コードの提出後にマチエンは変更されていないと思われます。LONDON, ENGLAND / ACCESSWIRE / August 10, 2017, *米国の投票技術企業- その歴史と現在の貢献*

選挙事務所の多くは、サイバーセキュリティの専門家を一人も雇っていない。

111.

元米軍情報部の専門家によるDominionのソフトウェアシステムの分析によると、システムとソフトウェアはアクセス可能であり、イランや中国などの不正な行為者によって確実に侵害されていたと結論づけています。不正な行為者や敵対的な外国の影響力に接続されたサーバーや従業員を使用し、簡単に発見できる多数の漏洩した資格情報を組み合わせることで、Dominionは外国の敵対者にデータへのアクセスを許可し、2020年の直近の選挙を含む選挙を監視して操作するために、そのインフラへのアクセスを意図的に提供していたのです。(Exh. 7).

112.

米国連邦地方裁判所、ジョージア州北部地方裁判所、アトランタ地区、17-cv-02989で係争中の訴訟の専門家証人は、2020年10月4日に提出された宣言によって、他の事実の中で、急性のセキュリティ脆弱性について具体的に証言した (Exh. 4B、文書959-4参照)

²⁸ *Exclusive*. 重要な米国の選挙システムは、公式の否定にもかかわらず、オンラインで露出されたままになっている、*Motherboard Tech by Vice, by Kim Zetter, 2019年8*

月8日, <https://www.vice.com/en/article/3kxzk9/exclusive-critical-us-election-systems-have-been-left-exposed-online-despite-official-denials>

本文中に添付されています。Hursti Declaration, Exh.4, P. 28の18及び20)。

1) ドミニオンのソフトウェアの失敗は、"投票システムの問題を管理するための国の基準の方法とプロセスを満たしておらず、いかなる状況下でも公選での使用を受け入れるべきではない"ということです。

2) Hursti の宣言では、「重大なセキュリティ上の意味合いを持つリモートアクセスやリモートトラブルシューティングの証拠があり、認定された識別された脆弱性は「極度のセキュリティリスク」と見なされるべきである」と説明しています。と説明しています。Hari Hursti氏はまた、最近の選挙中に投票監視員の立ち会いから投票集計情報の入ったUSBドライブが持ち去られるのが観察されたと説明しています。Id.USBドライブのコントロールがないという事実は、物理的なセキュリティの欠如と専門家の基準に準拠していないことが最近見られました"あるジョージア郡では、3,300票がロードされていないメモリスティックに加えて、フロイド郡では、別の2,600票がスキャンされていないことが報告されています。

(a) ドミニオン社に対する前例では、ドミニオン社で使用されているソフトウェアの背後にある秘密をさらに示唆しています。

²⁹ 再集計で数千票のジョージア州票が見つかる、Atlanta Journal-Constitution, Mark Niese and David Wickert, 11/19/20. <https://www.ajc.com/politics/recount-finds-thousands-of-georgia-votes-missing-from-initial-count/ERDRNXP3REQTM4SOINPSEP72M/votes-missing-from-in-in-count/ERDRNXP3REQTM4SOINPSEP72M>

Dr.ドミニオン投票システムの副社長であるエリック・クーマー博士は、問題をテストするためにどのようなテストソリューションが利用できるのか、またそれがどのように行われているのかについては、自分でもよくわからないと証言しています。”(同文書959-4、53頁、62 L.25-p.63 L3)。

113.

Hurstiは、同宣言の中で述べている。

"上記で概説されたセキュリティ上のリスク - オペレーティングシステムのリスク、コンピュータのハード化の失敗、オペレーティングシステム上での直接操作の実行、メモリカードの緩い制御、手順の欠如、および潜在的なリモートアクセス - は極端であり、投票システムからの集計および出力の信頼性を破壊する。"

フルスティ宣言パラグラフ49参照)。

114.

ジョージア州の真新しい投票システムに信頼性を与えるために、オープンで透明性のあるプロセスに従事するのではなく、選挙プロセスは以下のようなものでした。

ジョージア州の選挙法と連邦法に直接違反した票の受領、審査、開票、集計の間に隠されています。

115.

下院は2019年6月27日、Hurstiによって特定されたこれらの非常にリスクに対処する試みで、H.R.2722を可決しました。

本法案は、助成金プログラムと投票システムおよび紙の投票用紙の要件を通じた選挙の安全性に対処するものである。

同法案は、投票システムの要件を定めるもので、(1)システムは、(1)耐久性があり、耐久性のある有権者検証済みの紙投票用紙を使用すること、(2)投票前に有権者の印のついた投票用紙を有権者が閲覧・確認できるようにすること、(3)有権者検証済みの紙投票用紙を作成する方法で、障害者にプライバシーと自立性を含めた同等の投票機会が与えられるようにすること、(4)米国で製造されること、を含む。(5) インターネットへの議決権行使システムの接続禁止など、特定のサイバーセキュリティ要件を満たしていること。

追加の特定不正

116.

2020年11月4日、ジョージア州のGOP議長は次のような声明を発表した。

"繰り返しますフルトン郡の選挙管理者は メディアとオブザーバーに伝えました 選挙の夜の午後10時30分に ステートファームアリーナの集計センターを 閉鎖し 午前1時^{30分}まで秘密裏に投票用紙の集計を続けています

水曜日の午後7時の時点で、フルトン郡の選挙担当者によると、パイプが破裂したため、30,000枚の不在者投票用紙が処理されていないとのことである。"31 役人は、投票用紙のいずれも破損していないことを有権者に安心させ、水はすぐに浄化された。しかし、この緊急事態のため、当局は午前5時30分から午前9時30分までの間、投票用紙の処理を遅らせた。フルトン郡からの声明は続きます。

"今夜、フルトン郡は約86,000票の不在者投票の結果を報告し、選挙日と早期投票の結果も報告します。これらはフルトン郡内で投じられた投票の大部分を占めています。

"予定通り、フルトン郡は今後2日間、不在者投票の残りの集計を続けます。不在者投票の処理には、各投票用紙を開き、署名を確認し、投票用紙をスキャンする必要があります。これは、他の投票方法に比べて集計に時間がかかる労働集約的なプロセスである。フルトン郡は「選挙日にすべての不在者投票が処理されることを予想していませんでした」と当局は、すべての投票がカウントされ、すべての法律と規制が守られていることを確認するために働くことを述べています。³²

³¹ "4,000 remaining absentee ballots being counted in Fulton County", Fox 5 Atlanta, November 3, 2020, <https://www.fox5atlanta.com/news/pipe-burst-at-state-farm-arena-delays-absentee-ballot-processing>

³² フルトン郡でカウントされている残りの4,000票の不在者投票は、Fox 5 Atlanta, November 3, 2020, <https://www.fox5atlanta.com/news/pipe-burst-at-state-farm-arena-delays-absentee-ballot-processing>.

118.

原告は、「水漏れが不在者投票用紙を数える部屋に影響を与えた」という表現が真実ではなかったことを知りました。11月3日から11月5日までステートファームアリーナで修理を必要とした唯一の水漏れは、11月3日に発生したトイレのオーバーフローであった。それは、投票用紙を数えている部屋とは何の関係もありませんでしたが、誤った断水の表現は、"全員が家に送られる"ことにつながりました。それにもかかわらず、最初に6人(6)が、その後3人(3)が午前1時5分まで残ってコンピュータで作業していました。

119.

アフィアンは、彼女が11月3日にステートファームアリーナにいて、人々が立ち去るように言われた後に選挙作業員が残っているのを見たことを回想しています (Exh 28 Mitchell HarrisonのAffidavavid.(Exh. 28, Mitchell Harrisonの宣誓供述書、Exh. 29, Michelle Brantonの宣誓供述書参照)

120.

また、原告は、2010年にエリック・クーマーが米国エンジニアリング担当副社長としてドミニオンに入社したことを複数の報道で知っています。経歴によると、Coomerはカリフォルニア大学バークレー校を卒業し、核物理学の博士号を取得しています。Eric Coomerはその後、戦略およびセキュリティの投票システム担当役員に昇進しましたが、その後、Dominionの役員ページからは削除されています。Dominionは以下のようにウェブサイトを変更しました。

コロラド在住のジョー・オルトマンは記者として国内のテロ組織「アンティファ」に潜入していたことを明らかにしました エリック・クーマーが代表を務める様子を記録しています"心配するな。"トランプは選挙に勝てない、我々はそれを修正した"- "トランプ大統領を脅迫するような 暴力的なソーシャルメディアの投稿も記録しています(エリック・クーマーの録音とツイートのコピーを含む 2020年11月13日付けのミシェル・マルキンとのジョー・オルトマンのインタビューを参照)。³³

121.

アメリカの選挙の基本は透明性であるが、2020年11月3日のジョージア州の総選挙は、ほとんどすべての重要な局面で秘密に包まれ、「エラー」が蔓延し、結果を証明することができないほどの異常が浸透していた。

複数の専門家のレポートと統計資料
トランプ大統領と共和党の候補者たちに犠牲を与えた数百万票の票が失われたか、移動されたことを分析で証明しています。
協議会地区6と7のレース。

122.

数多くの公開報告書、専門家の報告書、目撃者の陳述からも明らかなように、被告の重大な不正行為は、郵送投票や普通投票に関する法律の規定を無視しており、その結果、以下のような事態を招いた。

³³ マルキンライブ。選挙の最新情報、ジョー・オルトマンのインタビュー、ミシェル・マルキン著、2020年11月13日、
<https://www.youtube.com/watch?v=dh1X4s9HuLo&fbclid=IwAR2EaJc1M9RT3DaUraAjsycM>

0uPKB3uM_-MhH6SMeGrwNyJ3vNmlcTsHxF4 で入手可能。

膨大な数のジョージア州の有権者の権利剥奪。原告の専門家は、上記の具体的な不実表示と一致していることを示し、投票データの分析から以下のことが明らかになる。

(a) 未集計の郵便投票については、マット・ブレイナーが録音された通話や有権者の申告書の形で収集し、原告の専門家であるウィリアムズ・M・ブリッグス博士が分析した証拠に基づいて、統計的に有意なサンプルに基づいて、有権者が郵送したが集計されなかった郵便投票の総数は、95%の確率で31,559票から38,886票の間で失われることが示されています。この範囲は、トランプ大統領の12,670票の損失幅を、少なくとも18,889票の損失幅と、26,196票もの損失幅で上回っている。(ブリッグス博士の報告書、添付資料付Exh.1参照)。

(b) 原告の専門家はまた、有権者が要求しなかった数万枚の投票用紙を受け取ったことも認めている。(Exh.1参照)。具体的には、ジョージア州では、統計的に有意なサンプルに基づいて、請求しなかった不在者投票用紙を受け取った人の数は16,938人から22,771人と予想され、この範囲は損失のマージンを超えていることをBriggs博士は発見した。

トランプ大統領には少なくとも4,268の違法な要求で12,670票、
10,101もの違法な要求で1万2,670票の差をつけています。同上。

(c) Briggs 博士が分析した未返却の投票用紙の母集団に反映されているように、この広範なパターンは、ここでの計算に加えて、ここで分析した未返却の投票用紙のデータベースにはないであろう、第三者が不法に取得した数多くの不在者投票や郵送による投票用紙に投票しているという避けられない現実を明らかにしている。O.G.C.A. 21-2-522を参照のこと。これらの不法に投票された投票用紙は、適切に登録された人の投票を禁止しており、同様に投票用紙の不正行為が広く行われていたことを明らかにしている。

(d) さらに、Matt Braynard氏の計算によると、ジョージア州の20,311人の不在者または早期有権者が州外に移動したと登録されている間に投票したという明確な証拠が存在する。報告書の添付ファイルを参照)。具体的には、これらの人々は、全米住所変更データベース(NCOA)に移転したこと、あるいはその後他の州で有権者登録を行ったことが、移転したこと、さらには他の州で投票した可能性があることを示す証拠として表示されていた。引っ越しをしたと記録された人の20,311票は、ドナルド・トランプ氏が選挙で7,641票差で敗北した差を上回っている。

(e) コブ郡には、上記の計算を、未返送の投票用紙の数、第三者が注文した投票用紙1,255枚と1,687枚の範囲、郵便紛失の投票用紙2,338枚と2,897枚の範囲に加えて、NCOAに記載されている転居した有権者10,684人を加えた**最低14人**の投票者数に基づいて**日割り**計算で個別に適用する。**276個の紛失・不正投票、最大15,250個の紛失・不正投票**があり、これは州全体の大統領選の総マージンを超え、**わずか1,606個**、コブ郡だけでも**2,580個もの投票数**となり、コブ郡共和党（以下、コブ郡共和党）に**影響を与えています**。

123.

エリック・クインネルの専門家の分析から見られるように、数学的な異常は、2016年と比較したときに合理的な予想を超える票の得票のようなフルトン郡内の様々な地区で、得票の失敗が正規分布ではなく、プラチクルティック分布として知られているものの分布の末尾に向かって実質的にシフトしている場合、これらの知見をさらに支持しています。Quinell博士は、2016年を超えるバイデンへの投票が2016年を超える登録数を超えるなど、多数の異常を特定しています。最終的には、彼は、その過剰なパフォーマンスの順に郡を識別します。

投票利益の正規分布から、最も異常な郡から最も少ない郡までのリストを明らかにした。これらの様々な異常は、投票の不正の証拠を提供します。

(Exh.27、添付ファイル付きのEric Quinnellの宣言を参照してください)。

124.

要約すると、ウィリアム・M・ブリッグス博士の専門家による録音された通話と宣言に基づいた分析では、紛失した投票用紙の範囲と違法に要求された投票用紙は、郵送投票システムが根本的に公正な投票メカニズムを提供することができなかったことを示す実質的な証拠を作成しています。要するに、何万票もの票がカウントされなかったが、不正のパターンは、何万票もの票が不適切にカウントされたことを明らかにしている。バイデン氏の選挙でのこの勝率はわずか12,670票であり、これらの批判のほとんどを個別に、そして確かに全体では耐えられない。

125.

これらの事実だけでは、失票、不正請求票、NCOAのデータに基づいて、コブ郡は、大統領選の州全体の差を上回るマージンを消費することになります。これらの選挙結果は覆されなければならない。

126.

上記の計算を、未返却の投票数に基づいてコブ郡に個別に*日割り計算*で適用すると、1,255票と1,687票の範囲になります。

第3者によって命じられた2,338票と2,897票の紛失郵便投票と、NCOAに移動したと記録されている10,684人の有権者を合わせた最低14,276票の紛失・不正投票、最高15,250票の紛失・不正投票の範囲である。これは、州全体の大統領選の総投票数の差をわずか1,606票、コブ郡だけで2,580票も上回るもので、コブ郡共和党（以下「コブ郡共和党」）に影響を与えています（Exh1参照）。（Exh.1参照）。

127.

ブレイナード氏はまた、ジョージア州では、ショッピングセンター、郵便物のドロップストア、その他の非住宅施設など、完全に詐欺的な住所で登録された有権者のパターンを発見した³⁴。

128.

まとめると、ウィリアム・M・ブリッグス博士の専門家の分析は、広範な調査、録音された通話、マット・ブレイナードによって収集された宣言に基づいており、（ブリッグス博士の報告書のExh.1の添付ファイルを参照）紛失した投票用紙や違法に要求された投票用紙の範囲は、郵送投票システムが公正な投票メカニズムを提供することが根本的に失敗しているという実質的な証拠を作り出している。以下では

³⁴ Matt Braynard, <https://twitter.com/MattBraynard/status/1331324173910761476>; <https://twitter.com/MattBraynard/status/1331299873556086787?s=20>; (a) <https://twitter.com/MattBraynard/status/1331299873556086787?s=20>

つまり、何万票もの票がカウントされていないのに、悪意のある人間の力がなければあり得ない不正行為や数学的な異常が、何万票もの票が不正にカウントされたことを明らかにしているのである。バイデン氏の選挙でのこの勝率はわずか12,670票であり、これらの批判のほとんどは個別には耐えられないし、全体としても耐えられない。

129.

コブ郡では、失われた票に基づいて、違法に要求された票とNCOAのデータだけでは、大統領選の州全体の差以上のものが消費されてしまうだろう。

130.

ラッセル・ラムズランド氏は、先日行われた総選挙において、ドミニオン社のソフトウェアのデータ侵害により、不正な行為者がソフトウェアに侵入し、操作することが可能になったことを確認しました。さらに彼は、少なくとも96,600枚の郵送投票用紙が合法的な有権者によって投じられなかったため、不正に集計されたと結論づけています。

131.

まとめると、上記のように、多くの独立した理由から、ジョージア州の認定選挙結果は、ジョー・バイデン氏がドナルド・トランプ大統領の得票数を12,670票も上回ったと結論づけており、ドナルド・トランプ氏の票は脇に置かれなければならない。

カウント I

被告人は選挙法および42 U.S.C. 1983条に違反しました。

132.

原告は、前記各項をあたかも本明細書に全面的に記載されているかのよう
に、すべての前記各項を主張する。

133.

選挙人条項は、「各州は、その立法府が指示する方法で、大統領の選挙
人の数を任命しなければならない」と規定している。第2条第1項第2号。第
2条第1節、第2項（強調）。同様に、米国憲法の選挙条項は、「上院議員及
び下院議員の選挙の時期、場所及び方法は、各州の立法府が定める」と規定し
ている。第一条第四節第一節第二節第三節第一節第二号第1条第4条第1項
（強調）。

134.

立法府は「国民の法律を決定する代表機関」である。スマイリー、285
U.S. at 193。したがって、議会および大統領選挙の規制は、「州が立法制定の
ために定めた方法に従わなければならない」。367; *Ariz.State Legislature v.*
Ariz.州議会 v. Ariz.Independ. Redistricting Comm'n, 135 S. Ct. 2652, 2668
(2015)も参照のこと。

135.

被告は総会の一員ではなく、立法権を行使することはできない。むしろ、被告の権限は「法律が忠実に実行されるように注意を払う」ことに限定されている。パソラド州憲法パソラド州憲法第 4 条第 2 項。IV、§2。合衆国憲法は、大統領と議会の選挙の開催時期、場所、方法を設定する権限を総会に留保しているため、郡の選挙管理委員会と州執行役員は、その権限を一方的に行使する権限はなく、ましてや既存の法律に抵触する方法で選挙を開催する権限はない。

136.

被告は立法府ではなく、「治癒手続き」を一方的に決定したことは、アメリカ合衆国憲法の選挙人・選挙権条項に違反している。

137.

国務長官と州選挙委員会は立法府ではなく、O.C.G.A. §21-2-386(a)(2)の明確な要件に直接違反して不在者投票の早期処理を許可する彼らの決定は、アメリカ合衆国憲法の選挙人および選挙の条項に違反しています。

138.

多くのアフィアンツは、具体的にはトランプ氏の不在者投票や郵送投票をバイデン氏に切り替えることを含む、投票プロセスにおける多くの法的違反を証言した。ある民主党員でさえ、見えない場所に戻ることを余儀なくされる前に、実際に見たことがあると宣誓供述書で証言しています。「私はまた、トランプ氏の不在者投票用紙がバイデン氏のスタックに挿入され、バイデン氏の票としてカウントされるのを見ました。これは数回発生した」。(Exh.18, Par.12 参照)。

139.

原告の専門家はまた、有権者が要求しなかった数万枚の投票用紙を受け取ったことも認めている。(Exh.1、Dr. Briggsの報告書を参照)。

具体的には、ブリッグス博士は、統計的に有意なサンプルに基づいて、ジョージア州では、予想される人の量は **received an absentee ballot that they did not request one ranges from 16,938 to 22,771**. 少なくとも4,268人の違法な要求によって12,670票、10,101人も違法な要求によってトランプ大統領の損失のマージンを超えていることを発見しました。

140.

ブリッグス博士が分析した未返却の投票用紙に反映されているように、この広範なパターンは、ここでの計算に加えて、第三者が不法に取得した数え切れないほどの数の不在者投票や郵送による投票を行っているという避けられ

ない現実を明らかにしている。

は、ここで分析された未返却の投票用紙のデータベースに含まれている。
O.G.C.A. 21-2-を参照のこと。

522.これらの不正投票された投票用紙は、適切に登録された人の投票を禁止
しており、広範囲にわたる不正行為のパターンを明らかにしています。

141.

さらに、Matt Braynardが収集したデータによると、ジョージア州の
20,311人の不在者または早期投票者が州外に移動したと登録しながら投票した
という明確な証拠が存在する。具体的には、これらの人々は、全米住所変更デ
ータベース(NCOA)に引っ越しをしたと表示されていたり、別の州で有権者登録
をしていたりしたことが、引っ越しをしていて、別の州で投票した可能性があ
ることの証拠となっています。移転したと記録された人の20,311票は、ドナル
ド・トランプ氏が選挙で7,641票差で敗北した差を上回っている。

142.

原告は、法律上の適切な救済手段を持たず、ここで要求された差止命令
による救済が認められない限り、深刻で回復不能な損害を被ることになる。
被告は、憲法の選挙条項に違反する行為を行っており、また、差し止められな
い限り、州法の色を利用して行動する予定である。したがって、2020年11月3
日に行われる大統領選挙と議会選挙の結果は破棄されなければならない。結果
は憲法違反に感染している。

カウントII

州の長官とジョージア州の郡は違反した
第四十四改正合衆国憲法AMEND.XIV, 42
U.合衆国法律集第1983条

平等の保護の否定

影響を及ぼす法規制の無効な制定
選挙の監視とモニタリング

143.

原告は、本訴の各前段落を参照し、参照することにより、本訴の各段落を引用し、同様のことが本訴においても繰り返されているかのように引用し、これを組み入れている。

144.

合衆国憲法修正第14条は、「いかなる国家も、法の正当な手続きなしに、いかなる人からも生命、自由、財産を奪ってはならず、また、その管轄内のいかなる人に対しても法の平等な保護を否定してはならない」と規定している。
Bush v. Gore, 531 U.S. 98, 104 (2000)(一度は平等な条件で投票する権利を認めた国家は、後になって恣意的かつ不平等な扱いをして、ある人の投票を他の人の投票の価値よりも高く評価することはできないも参照のこと。*Harper v. Virginia Board of Elections*, 383 U.S. 663, 665 (1966)(一旦選挙権が有権者に付与されると、修正第14条の平等保護条項と矛盾するような線を引いてはならない)。

145.

当裁判所は、平等な保護を確保するためには、「平等な適用を確保するための具体的な基準がないことに問題が内在する。このような繰り返しの状況に基づいて意図を判断するための統一的な規則を策定することは現実的であり、必要であると結論付けている"*Bush v. Gore*, 531 U.S. 98, 106, 121 S. Ct. 525, 530, 148 L. Ed. 2d 388 (2000)2d 388 (2000).

146.

選挙法の平等な執行は、私たちの最も基本的で基本的な権利を守るために必要である。選挙権を含む基本的権利の行使に影響を与える法律については、平等な保護の要件が特に厳しく執行されます。

147.

2020年11月3日の総選挙を含むジョージア州で実施される州政府及び連邦政府の選挙において、原告を含むがこれに限定されないすべての候補者、政党、及び有権者は、すべての選挙区において選挙手続が適切に管理され、自由、公正、透明性を確保するために、各郡の選挙手続を観察し、監視するために立ち会い、有意義なアクセスを持つことに既得権益を有している。

さらに、監視者と代表者を巻き込んだ規定を通じて、ジョージア州選挙法は、トランプ・キャンペーンを含む各郡のすべての候補者と政党が、選挙手続がすべての選挙区で適切に管理され、それ以外の場合は自由、公正、透明であることを保証するために、選挙手続を観察し、監視するための有意義なアクセスを保証している。例えば、分かりやすく言えば、法律では選挙日前に不在者投票用紙を開くことを明確に禁止しているが、規則では選挙日の3週間前に開くことを認めている。この矛盾を調整することはできない。州選挙管理委員会は、O.C.G.A.§21-2-31に基づき、合法的かつ合法的な規則や規則を採択する権限を持っているが、明確な法令に直接反する規則を公布する権限はない。したがって、規則 183-1-14-0.9-.15 は、明白かつ明白に違法である。

原告はまた、ジョージア州法、O.C.G.A.§21-2-522、争点の根拠に基づいて本訴訟を提起する。

149.

小選挙区または選挙の結果は、次のいずれかの理由で争われることがある。

150.

(1) 小選挙区または選挙の職員または職員による不正行為、不正行為、または不正行為であっても、結果を変更したり、疑わしいものにしたりするに十分なもの。

(2) 被告が指名・役職を争って不適格となった場合

(3) 不正な投票が行われた場合、または合法的な投票が投票所で否決された場合は、結果を変更したり、疑わしいと判断したりするのに十分な数の投票が行われました。

(4) 投票数の数え方や小選挙区または選挙結果の宣言に誤りがあり、そのような誤りが結果を変えることになる場合。

(5) 他の理由で、他の人が合法的に指名され、選出され、またはランオフのプライマリーまたは選挙で競争する資格のある人であったことを示しています。

O.C.G.A. 21-2-522.

151.

複数のアフィアンツは、不在者投票の処理に関する不適切な手順、コンピ

ュータシステム内のログの監査可能な手順の欠如、これはジョージア州法および
連邦選挙法に違反していると証言しました。を参照してください。

また、合衆国法典第 50 編第 20701 条は、罰金および禁固刑の罰則の下で、選挙管理者による記録および書類の保存および保存を要求しています。

152.

州選挙管理委員会は2020年11月23日、来る2021年1月の出馬投票選挙に向けて、規則183-1-14-0.9-.15を再採択した。

153.

多数の投票用紙は同一のものであり、不正なものである可能性が高い。アフィアンは、全く原始的な投票用紙を観察したと説明しています。

14. ほとんどの投票用紙はすでに処理されていて、人が書いたもので、端が摩耗していました。明らかに使用されていた。しかし、1つの投票用紙が目立っていた。それは原始的なものでした。紙の質感に違いがあり、不在者用に使用されていないかのようだ。手触りが違う。

15. これらの異なる投票用紙には、スキャン機で使用するために簡単に折りたたんだり広げたりできるように、前折りが少し窪んでいるものがありました。投票用紙には、どこから来たのか、どこで処理されたのかを示すマークはありませんでした。これらが目立っていました。

16. 私の20年間の投票用紙の取り扱い経験の中で、これらの投票用紙の候補者のマークは、おそらく投票マーク装置を使用しても、異常に均一であることを観察しました。これらの投票用紙を観察した私の推定では、約98%がジョー・バイデン氏への投票であった。私が観測した投票用紙のうち、ドナルド・J・トランプ大統領への投票として観測したのは2枚だけである。(Exh.15参照)。

154.

同じアフィアンはさらに、選挙の前夜に投票機の保管の連鎖の違反について具体的に証言しています。

私たちは通常、選挙の前の金曜日に投票機、投票用紙のマーキング装置を受け取り、日曜日に署名するChain of Custody Letterに署名して、機械を受け取ったときに機械と機械上のカウントを受け取ったことを示し、機械が封印されていることを確認します。今回のケースでは、選挙日の午前2時まで機械が届いていないにもかかわらず、日曜日にChain of Custody letterに署名するように依頼されました。ミルトン管区は選挙日の午前1時に機械を受け取った。これは容認できないことであり、投票機は選挙日前に保管を解かれるべきではありません。選挙日前に投票機が保管されていないことがあってはならない。

155.

被告は、各郡の投票権を有する市民をジョージア州の他の郡の市民と同様に扱う義務がある。

156.

上記のカウントIに記載されているように、被告はジョージア州選挙法典の要件を遵守せず、それによって原告および他のジョージア州の有権者や選挙人の合法的な投票用紙を希釈し、合衆国憲法が保障する平等な保護に違反した。

157.

具体的には、被告は原告に対し、法の平等な保護を否定し、ジョージア州の他の郡で市民が享受している選挙プロセスを観察し、監視するための有意義なアクセス権を否定した。

(a) すべての不在者投票および郵送投票の事前投票および投票に参加する代表者をジョージア州の資格を持たない者とすることを義務づける。

観察と監視を求めた郡の弁護士または資格のある登録選挙人。

(b) 公式の不在者投票および郵送投票の入ったすべての封筒を、開封時または開封前、および／またはそのような投票が数えられ記録された時に、監視者および代表者が目に見えて確認することを許可しないこと。

(c) ドミニオン認証レポートの認証条件を満たしていないDominion Democracy Suiteのソフトウェアおよびデバイスの使用を許可していません。

158.

その代わりに、被告は、トランプ共和党の提出した監視員および代表者全員の資格を取得することを拒否し、また、トランプ・キャンペーンの監視員および代表者を、不在者投票および郵送投票の検査、開封および集計が行われている場所から警備員および金属バリケードで遠ざけていた。その結果、被告は、候補者や政党が投票用紙を閲覧し、不正に投函された投票用紙が開封・集計されていないことを確認することが物理的に不可能なシステムを構築した。

159.

トランプ氏への不在者投票や郵送投票をバイデン氏に切り替えたと言言したアフィアンツは、民主党員を含めて多くいます。彼は宣誓供述書の中で、彼が見えない場所への移動を余儀なくされる前に、次のように証言しました。

実際に見たことがあります"トランプのための不在者投票がバイデンのスタッフに挿入されバイデンの票としてカウントされましたこれは数回起こった」。 (Exh.18, Par.12参照)。

160.

ジョージア州の他の郡の選挙管理委員会は、候補者および政党の監視者および代表者（共和党およびトランプ・キャンペーンの監視者および代表者を含むがこれに限定されない）に対して、これらの郡の選挙管理委員会が事前に収集および収集している不在者投票および郵送投票を閲覧するための適切なアクセスを提供し、郡の居住地またはジョージア州の弁護士資格要件によって代表者を制限することはありませんでした。

161.

被告は、被告が事前に投票用紙を収集して収集する不在者投票および郵送投票の実際の観察および監視を意図的および／または恣意的かつ気まぐれに拒否し、他の郡の市民が享受している州法の平等な保護を原告から奪った。

162.

被告は、アメリカ合衆国憲法の平等保護条項によって保障されている選挙手続きに出席し、実際に観察し、アクセスする原告の権利を侵害するために、州法に基づいて行動しており、今後も行動し続ける予定である。

163.

被告はさらに、被告がジョージア州の郡に投票用紙を処理し、不適格な投票用紙を数えることを可能にし、Dominion Democracy Suiteを使用して、トランプ氏とマコーミック氏の適格な投票用紙をバイデン氏に切り替えるか、または完全に失わせることを可能にしたという点で、ジョージア州の有権者の権利を均等に保護するための侵害を行った。このように被告は、修正第14条の平等保護条項とジョージア州選挙法典で要求されているように、統一された方法で総選挙を実施することができなかった。

164.

原告は、このような状況下での選挙は不適切に認証されたものであり、知事がジョージア州の大統領選挙の認証結果を選挙人投票所に送信することを差し止めるよう求める宣言的および差止命令的な救済を求めています。ジョージア州の法律では、合法的に投じられなかった、またはドミニオン・デモクラシー・スイートのソフトウェアおよびデバイスを違法に使用して、トランプ氏からバイデン氏に切り替えられた投票を含む集計結果を認証することを禁じている。

165.

また、原告は、このような状況下での選挙が不当に認定されたとする宣言的および差止命令的な救済を求め、知事にはドナルド・ウォルマートの選挙結果の再認定を要求することを求める。

トランプ氏が勝利し、ジョージア州の公認大統領選挙の結果をトランプ大統領に有利に送信しています。

166.

原告は法律上の適切な救済手段を持たず、ここで要求された宣言的および差止命令による救済が認められない限り、深刻で回復不可能な損害を被ることになる。実際、国民が代表者を選んだ選挙を無効にすることは、軽々しく行うべきではない抜本的な救済策であるが、その代わりに、選挙に異議を唱える者が選挙手続きの違反を明確に立証し、その違反が選挙の結果を疑わしいものにしたことを証明した場合にのみ、保留されるべきである。ジョージア州法では、選挙手続きの完全性をチェックする手段として、また、投票する市民の基本的な権利を確保し、投票を正確に集計してもらうための手段として、訴訟を通じて選挙に異議を唱えることを認めている。O.C.G.A. §21-2-520 et seq.

167.

前段落の救済要求に加えて、原告は、郡の選挙管理委員会に対し、以下の投票用紙の無効化を求める恒久的な差し止めを求めている。1) 投票用紙、封筒、有権者登録のチェックに署名が一致していない有権者、2) すべての「死票」、4) ジョー・バイデン氏が100%当選したとされるフルトン郡の900枚の軍用投票用紙。

カウント三世

第四十四条平等保護条項 U.S. CONST.改正XIV、42 U.S.C.

手続きの拒否

欠席者・メールイン投票者の扱いの違い 異なる郡

168.

原告は、本訴において、これまでの各主張を組み入れている。

投票権は、アメリカ合衆国憲法修正第14条によって保護された基本的権利である。修正第14条は、選挙手続の基本的な公正さを著しく損なう州役人の行為から投票権を保護している。 *Marks v. Stinson*, 19 F.3d 873, 889 (3d Cir. 1994); *Griffin*, 570 F.2d at 1077-78."一旦平等な条件で投票する権利を与えられた国家は、後になって恣意的かつ不平等な扱いをして、ある人の投票を他の人の投票よりも高く評価してはならない。 *ブッシュ*, 531 U.S. at 104-05.

169.

被告は連邦議会の一員ではなく、立法権を行使することはできない。むしろ、被告の権限は、立法府が可決した法律を実行することに限定されている。ジョージア州総会は選挙の実施を規定する法律を制定することができるが、「いかなる立法府の制定も、選挙の実施を規定する法律を制定することはできない。

"ジョージア州憲法や合衆国憲法の要件に反する"

シャンキー、257 A. 2d at 898.

170.

連邦裁判所は、"衡平法上の救済策を策定するための広範な裁量権を有する"*Black Warrior Riverkeeper, Inc. v. U.S. Army Corps of Engineers*, 781 F.3d 1271, 1290 (11th Cir. 2015); *Castle v. Sangamo Weston, Inc.* 837 F.2d 1550, 1563 (11th Cir. 1988) ("衡平法上の救済を認めるかどうかの決定、および認められた場合にはどのような形式をとるかは、地方裁判所の裁量に委ねられる")。

171.

さらに、「有権者がこれらの要件に反して行われた些細なミスによって投票用紙が否決される危険性がある場合には、その危険性を軽減するために『通知と治癒の機会』手続きを提供するという決定は、立法府に最も適したものである」[...]。特に、手続きの正確な輪郭はどうなるのか、付随する負担はどのように対処されるのか、手続きは機密性と投票用紙のカウントにどのような影響を与えるのかなど、その決定に関連した公然とした政策上の疑問を考慮すると、これらはすべてジョージア州政府の立法部門に委ねられるのが最善である」と述べた。と述べている。

172.

ジョージア州の有権者を不平等に扱うことは、ある種の有権者に他の有権者よりも大きな負担や精査を課すことになり、平等保護の保証に違反するからである。 *Reynolds*, 377 U.S. at 555. *Rice v. McAlister*, 268 Ore.125, 128, 519 P.2d 1263, 1265 (1975); *Heitman v.*

Brown Grp. Inc. 638 S.W.2d 316, 319, 1982 Mo.Brown Grp, Inc, 638 S.W.LEXIS 3159, at *4 (Mo.

Ct.1982年) ; *Prince v.*1982年) ; *Prince v. Bear River Mut.*

173.

被告は立法府ではなく、この州の一部の不在者や郵送による投票者のために治療手続きを作成し、実施するという被告の一方的な決定は、合衆国憲法のデュー・プロセス条項に違反している。原告は法律上の適切な救済手段を持たず、ここで要求された差止命令による救済が認められない限り、深刻で回復不能な損害を被ることになる。

カウントIV

合衆国憲法第四十四条ART.I §4, CL.1 ; ART.II, §1, CL.2 ; AMEND.XIV, 42
U.S.C.§1983

投票権に関する手続の否認

174.

原告は、本訴の各前段落を参照し、参照することにより、本訴の各段落を引用し、同様のことが本訴においても繰り返されているかのように引用し、これを組み入れている。

175.

連邦候補者が関与する州選挙で投票する資格のある市民の権利は、アメリカ合衆国憲法修正第14条の下で基本的権利として認められている。*Harper*, 383 U.S. at *Reynolds*, 377 U.S. at 554 (修正第14条は、「州の選挙でも連邦の選挙でも、すべての資格を持つ市民が投票する権利」を保護している)。実際、*Slaughter-House Cases*, 83 U.S. 36 (1873)以来、アメリカ合衆国最高裁は、修正第14条の特権または免除条項が、連邦市民の特定の権利を州の干渉から保護し、市民が議会の議員を直接選挙する権利を含むと主張してきた。*Twining v. New Jersey*, 211 U.S. 78, 97 (1908)(*Ex parte Yarbrough*, 110 U.S. 651, 663-64 (1884))を参照。オレゴン対ミッチェル、400 U.S. 112, 148-49 (1970)(Douglas, J. concurring)(事例集)。

176.

修正第14条によって保護された選挙権の基本的な権利は、「他の基本的な市民権と政治的権利を保存するものである」という理由から、わが国では大切にされています。*Reynolds*, 377 U.S. at 562.有権者には「脅迫や不正行為の痕跡のない選挙で投票する権利」があり、「選挙プロセスの完全性に対する信頼は、参加型民主主義の機能に不可欠である」としている。*パーセル対ゴンザレス*, 549 U.S. 1, 4 (2006) (per curiam)。

177.

"憲法で保障されている投票権には明らかに含まれているが、投票が有効に行われている場合には、州内の有権者が投票用紙を投じ、それを集計する権利がある。*合衆国対クラシック*, 313 299, 315 (1941)"投票を数える権利」とは、「希釈化や割引なしに完全な価値で数える」ことを意味する。*Reynolds*, 377 U.S. at 555, n.29 (*South v. Peters*, 339 U.S. 276, 279 (1950)(Douglas, J. dissenting))を引用。

178.

"連邦政府の選挙において、すべての有権者は、勝つ可能性の低い候補者に投票しても、負ける可能性の低い候補者に投票しても、自分の投票が不正に投じられて歪められることなく、公正に集計される権利を憲法の下で有している。*アンダーソン対アメリカ合衆国* 417 U.S. 211, 227 (1974); *ベーカー対カー*, 369 U.S. 186, 208 (1962)も参照。無効または

不正な投票は、有効な投票の重みを「低下させ[]」、「希薄化」させます。

Anderson, 417 U.S. at 227 を参照のこと。

179.

正直に数を数える権利は、投票権を持つ各選挙人が有する権利であり、投票の重要性が全部または一部を問わず無効にされた場合、合衆国の法律と憲法によって確保された権利または特権の自由な行使において損害を被ったことになる」。 *Anderson*, 417 U.S. at 226 (引用 : *Prichard v. United States*, 181 F.2d 326, 331 (6th Cir.), *aff'd due absence of quorum*, 339 U.S. 974 (1950))。

180.

違法または信頼できない投票用紙の投函を促進したり、そのような行為に対する基本的な最低限の保証がない慣行は、有効に投じられた投票用紙の希釈化につながることで、修正第14条に違反する可能性がある。 *Reynolds*, 377 U.S. at 555 ("参政権の権利は、市民の投票の重みを低下させたり希釈化させたりすることによっても、自由権の行使を全面的に禁止することと同様に効果的に否定される可能性がある")を参照のこと。

181.

ジョージア州では、署名検証の要件がデッドレターになっている。国務長官が発表した直近の選挙の署名否認率は0.15%だった。不在者投票申請の署名否認率は0.00167%-州全体ではわずか30件だった。ジョージア州ハンコック郡

人口8,348人のフルトン郡は、署名の不一致を理由に9つの不在者投票の申請を却下した。フルトン郡は8件を却下した。ジョージア州の他の大都市郡では、署名の不一致を理由に不在者投票の申請を1件も却下した例はない。コロラド州は、数年前から郵送による投票を実施しているが、署名拒否率は0.52%から0.66%である。³⁵ オレゴン州の2016年の署名拒否率は0.86%³⁶ ワシントン州の署名拒否率は1%から2%である。³⁷ もしジョージア州が不在者投票を実際の0.15%ではなく0.52%の率で拒否していたとしたら、約4,600枚の不在者投票が拒否されていたことになる。

カウントV

広範囲に広まった投票用紙の不正があった。 **OCGA 21**

- 2 - 522

182.

原告は、本訴の各前段落を参照し、参照することにより、本訴の各段落を引用し、同様のことが本訴においても繰り返されているかのように引用し、これを組み入れている。

³⁵ 参照 <https://duckduckgo.com/?q=colorado+signature+rejection+rate&t=osx&ia=web>
last visited November 25,2020

³⁶ <https://www.vox.com/21401321/oregon-vote-by-mail-2020-presidential-election> を参照、
最終訪問日は2020年11月25日。

³⁷ <https://www.salon.com/2020/09/08/more-than-550000-mail-ballots-rejected-so-far-heres-> を参

照してください。

[how-to-make-sure-make-sure-your-votegets-counted/](#)最後に訪れたのは2020年11月25日。

183.

原告はジョージア州の選挙結果に異議を唱え、O.G.C.A. 21-2-521に基づいて付与された地位をもっている。

184.

したがって、O.G.C.A. 21-2-522に基づき、初等選挙または選挙の役人または役人による不正行為、不正行為、または不正行為が、結果を変更したり、疑わしいものにしたりするのに十分なものであった場合には、この限りではありません。ジョージア州法は、「それにもかかわらず、選挙プロセスの完全性をチェックするための手段として、また、市民の投票の基本的な権利を確保し、投票を正確に集計してもらうための手段として、訴訟を通じて選挙を争うことを認めている」という基本的な原則に基づいています。 *Martin v. Fulton County Bd. of Registration & Elections*, 307 Ga.193, 194, 835 S.E.2d 245, 248 (2019). ジョージア州最高裁判所は、原告が[]有権者が[]不在者投票が定期的に行われていた場合にどのように投票したかを示す必要はないことを明らかにしている。原告は、結果を疑うに足るだけの不規則な投票があったことを示せばよかったのである。 OCGA § 21-2-520 et seq., *Mead v. Sheffield*, 278 Ga. 268, 272, 601 S.E.2d 99, 102 (1994)を248 (2019). 参照してください。

したがって、[原告]には、どのようにして481人の有権者は、もし自分の[不在者]投票が定期的に行われていたら投票していただろう。彼は結果を疑うに足るだけの不定期投票があったことを証明する必要があった。彼はその任務を成功させた。

271 (*Howell v. Fears*, 275 Ga. 627, 571 SE2d 392, (2002)を引用)627, 571 SE2d 392, (2002)(1つの管区の投票で両方の資格を持つ候補者の名前が漏れていた場合、一次結果は無効)を引用している。

185.

ドミニオンシステムの「不具合」は、トランプ氏を傷つけ、バイデン氏を助けるという画一的な効果を持っているように見えることは、マスコミで広く報道され、独立した専門家の分析によって確認されています。

186.

複数の宣誓供述書の疎明証拠は、特定の不正行為を示しており、問題のレースをひっくり返すことに直結している。

- a) 再集計の間にバイデンの票が トランプから離れて入れ替わっています
- b) 選挙コードに従うための手順の欠如、および購入と使用、ドミニオンの投票システムは、深刻な脆弱性の証拠にもかかわらず、。
- c) パイプが破裂して全員を帰宅させ、最初の6人、その後3人の無名の個人が朝の時間まで放置されて機械の作業をしている間に、虚偽の報告が行われたというデモ。

d) さらに、真正な監査を妨げる任意の編集可能なログ以外に、真正で健全な監査のために投票システム上のログを維持することにおいて、ジョージアの選挙規約への準拠を実証していないことが挙げられます。この民主共和国の基盤は、選挙の妥当性と透明性のあるプロセスに対する市民の信頼にかかっていますが、ジョージアの2020年11月3日の総選挙は、ミスのないパターンを反映した汚職と不正の暗闇の中にあります。これまでの証拠は、良くても真実の無知を示しており、最悪の場合、詐取する意図があることを知っていたことを証明しています。

187.

原告の専門家はまた、有権者が要求しなかった数万枚の投票用紙を受け取ったことも認めている。(Exh.1、Dr. Briggsの報告書を参照)。

具体的には、ブリッグス博士は、統計的に有意なサンプルに基づいて、ジョージア州では、請求しなかった不在者投票を受け取った人の期待値が1万**6,938**票から**2万2,771**票の範囲であることを発見しました。この範囲は、少なくとも4,268件の不法請求で12,670票、10,101件もの不法請求でトランプ大統領の損失のマーヅンを上回っている。

188.

Briggs 博士が分析した未返却の投票用紙の母集団に反映されているように、この広範なパターンは、ここでの計算に加えて、ここで分析した未返却の投票用紙のデータベースにはないであろう、第三者が不法に取得した数多くの不在者投票や郵送による投票用紙に投票しているという避けられない現実を明らかにしている。O.G.C.A. 21-2-を参照のこと。

522.これらの不正投票された投票用紙は、適切に登録された人の投票を禁止しており、広範囲にわたる不正行為のパターンを明らかにしています。

189.

さらに、ジョージア州の20,311人の不在者または早期投票者が、州外に移動したと登録されている間に投票したという明確な証拠が存在します。具体的には、これらの人々は引っ越しをしたと全米住所変更データベース(NCOA)に表示されていたり、別の州で有権者登録をしていたりしたことが、引っ越しをされていて、別の州で投票した可能性があることの証拠にもなっていた。引っ越しをしたと記録された人の20,311票は、ドナルド・トランプ氏が選挙で7,641票差で敗北した差を上回っている。

190.

原告の専門家であるラッセル・ラムスランド氏は、少なくとも96,600枚の郵送投票が不正に行われたと結論付けている。さらに彼は、以下のように結論づけています。

ドミニオンのソフトウェアが不適切に操作された結果、136,098票が不正にカウントされた。Ramsland Aff)。

191.

不在者による郵便投票が存在することで、不正行為の機会が増えた。ウィリアム・ブリッグス (William Briggs) 博士によって分析された未返却の投票用紙の母集団は、はるかに多くの郵送投票用紙が、第三者によって要求されたか、または誤って人に送られ、署名検証の失敗したシステムによって検出されずに不正に投票された可能性があることを明らかにしています。

受給者は、他人の名前で投票したり、法的な投票権を持たずに投票したり、適切な住所で投票用紙を受け取っていないなかったり、自分の名前で投票用紙が残っていたために、仮投票を除いて投票所で投票できなかったことが判明したりしています。

192.

これらの未集計の投票や、有権者自身が注文していない投票用紙の弊害、そしてこれらの未注文の投票用紙の多くが実際に不正に投票され、投票所での適切な投票を妨げた可能性を考えると、郵送投票システムはジョージア州で明らかに失敗しており、大規模かつ広範囲にそのようなことが行われています。投票の失敗の規模は、偶発的なものであれ、故意なものであれ、投票の失敗の大きさは、投票所での大統領候補者間の得票差の何倍にもなります。

州である。これらの理由から、ジョージア州は郵便投票の結果に合理的に依拠することはできない。

193.

投票権には、投票する権利だけでなく、合法的に投票された場合には公正に集計される権利も含まれます。投票権は、一人の人間が複数回投票した場合も含めて、不正または違法な投票によって投票が取り消されたり、希釈されたりした場合に侵害されます。米国最高裁は、これまでの判例でこのことを明確にしてきた。例えば、*Gray v. Sanders*, 372 U.S. 368, 380 (1963)(すべての投票は「不正な投票による希釈効果から保護されなければならない」) ; *Crawford v. Marion Cnty. Election Bd.* 選挙委員会, 553 U.S. 181, 196 (2008) (Stevens, J. の複数意見) (「資格のある有権者の票のみを数えることの正当性や国の利益の重要性については疑問の余地はない」) ; アコー ド *Reynolds v. Sims*, 377 U.S. 533, 554-55 & n.29 (1964).

194.

原告には法律上の適切な救済手段がない。ウィリアム・ヒッグス博士の専門家による実際の有権者データに基づく分析からわかるように、数万票はカウントされず、数万票は違法に請求されたものである。

195.

修正第14条のデュー・プロセス条項は、選挙手続の基本的な公正さを著しく損なう州役人の行為から投票権を保護するものである。*Marks v. Stinson*, 19 F.3d 873, 889 (3d Cir. 1994); *Griffin v. Burns*, 570 F.2d 1065, 1077-78 (1st Cir. 1978).

196.

均等保護条項とは別に、修正第14条のデュープロセス条項は、「州の選挙人の権利を剥奪すること」から投票する基本的な権利を保護しています。*Duncan v. Poythress*, 657 F.2d 691,702 (5th Cir. 1981)。"選挙プロセスが『特許的かつ根本的な不公平性の点に達した場合』には、デュープロセス違反がある。フロリダ州 *N.A.A.C.P. 会議 v. Browning*, 522 F.3d 1153, 1183-84 (11th Cir. 2008)(*Roe v. Alabama*, 43 F.3d 574, 580 (11th Cir.1995)(*Curry v. Baker*, 802 F.2d 1302, 1315 (11th Cir.1986))の引用)を参照。また、*Griffin*, 570 F.2d at 1077 ("選挙プロセス自体が特許的かつ基本的な不公正の点に達している場合、デュープロセス条項の違反が指摘される可能性があり、したがって、1983 §に基づく救済が必要である")を参照のこと。
v. Stinson, 19 F.3d 873, 889 (3d Cir. 1994) (不在者投票が不正に入手され、投函された場合、当選した州上院候補者が公的権限を行使することを禁じる)。

197.

このような判決を下す裁判所の正当性の一部は、投票権と自由で公正な選挙を受ける権利は、他の基本的な市民的・政治的権利を維持するものであるという最高裁の認識にある。*Black*, 209 F.Supp.2d at 900 (*Reynolds*, 377 U.S. at 561-62を引用) (「自由で損なわれない方法でフランチャイズを行使する権利は、他の基本的な市民的・政治的権利を維持するものであるため、市民の投票権侵害の疑いがある場合は、慎重かつ細心の注意を払って精査しなければならない」) 参照。

ホプキンス 118 U.S. 356, 370 (1886) (「投票の政治的フランチャイズは.....すべての権利を保存するものであるため、基本的な政治的権利とみなされる」)。

198.

"投票する権利、自分の投票を集計してもらう権利、および自分の投票に平等な重みを与えてもらう権利は、アメリカ合衆国憲法修正第14条のデュープロセス条項に組み込まれた基本的かつ基本的な憲法上の権利である。*Black*, 209 F. Supp. 2d at 900 (地方の選挙管理者が選挙人の一部に異なる投票方式を課し、他の一部には課さないことを認める州法はデュープロセスに違反している)。"the 修正第14条の平等保護条項が、the 州当局が選挙権をthe 不当に希釈する

ことを禁止しているのと同様に、州当局が選挙権を不当に希釈することを禁止しているのである。

投票は、修正第14条の正当な手続きの条項により、国家による投票を禁じています。

違法にその基本的権利を排除することから当局者を守るために」。 *Duncan*, 657 F.2d at 704."一度は平等な条件で投票する権利を認めたが、[被告]は後になって恣意的かつ不平等な扱いをして、ある人の投票を他の人の投票よりも高く評価してはならない。ブッシュ、531 U.S. at 104-05.

199.

2020年11月3日の総選挙を含むジョージア州で実施される州政府および連邦政府の選挙において、すべての候補者、政党、および有権者（原告を含むがこれに限定されない）は、選挙手続がすべての選挙区で適切に管理され、自由に公正かつ透明性のあるものであることを確実にするために、選挙手続を観察および監視するために立ち会い、有意義なアクセスを持つことに既得権益を有している。

200.

さらに、ジョージア州選挙法は、監視人と代表者を含む規定を通じて、原告、共和党、トランプ・キャンペーンを含むがこれらに限定されないすべての候補者と政党が、すべての選挙区において選挙手続が適切に管理され、それ以外の場合は自由、公正、透明性が確保されるように、選挙手続を観察し、監視するために「出席」し、有意義なアクセスを持つことを保証する。

201.

被告には、不正投票や選挙改竄によって有効な投票用紙が希釈されることで投票権が奪われることを防ぐ義務がある。被告はこれらの義務と義務に従わず、以下のような方法で、トランプ・キャンペーンと共和党が選挙プロセスを観察し監視するための有意義なアクセスを恣意的かつ気まぐれに拒否した。(a) すべての不在者投票および郵送投票の事前投票および投票所での代表者は、ジョージア州の弁護士または観察および監視を求める郡の有資格の登録選挙人であることを義務づけ、(b) 公式の不在者投票および郵送投票の入ったすべての封筒が開封された時点または開封前、および/またはそれらの投票が数えられ記録された時点で、監視者および代表者が目で見て確認することを許可しないことによって、トランプ・キャンペーンおよび共和黨員が選挙プロセスを観察および監視する意味のあるアクセスを恣意的かつ気まぐれに拒否した。その代わりに、被告は、トランプ・キャンペーンの提出した監視員および代表者全員の資格を取得することを拒否し、トランプ・キャンペーンの監視員および代表者を、不在者投票用紙および郵送投票用紙の検査、開封および計数が行われていた場所から警備員および金属バリケードで遠ざけていた。投票用紙を見るための実際のアクセスによる意味のあるアクセスの欠如は、さらなる不正行為を招き、手続きの妥当性に疑念を投げかけた。

202.

その結果、被告は、候補者や政党が投票用紙を閲覧し、不正に投じられた投票用紙が開封・集計されていないことを確認することが物理的に不可能なシステムを構築した。

203.

被告は、被告が事前に投票用紙を集めて投票する不在者投票および郵送投票の実際の観察および監視を意図的および/または恣意的かつ気まぐれに、原告にアクセスすることを拒否したり、妨害したりしました。被告は、合衆国憲法修正第14条によって保障されている選挙権と正当な手続きを侵害するために、州法に基づいて行動してきたし、今後も行動し続けるだろう。

204.

原告は、法律上の適切な救済手段を持たず、ここで要求された差止命令による救済が認められない限り、深刻で回復不能な損害を被ることになる。

205.

これらの未集計の投票や、有権者自身が注文していない投票の弊害を考えると、これらの多くが

順番に並べられていない投票用紙が実際に不正に投票され、投票所での適切な投票を妨げた可能性があるが、郵送投票システムは、ジョージア州で明らかに失敗しており、大規模かつ広範囲にそうになっている。投票の失敗の規模は、偶然か故意かにかかわらず、州内のマージンの何倍もの大きさである。これらの理由から、ジョージア州は郵便投票の結果を合理的に信頼することはできない。

206.

求められている救済は、2020年の選挙での郵便投票のカウントからの排除である。あるいは、ジョージア州の大統領選挙人は、2020年の選挙に向けてカウントから除外されるべきである。

207.

合衆国法（3 U.S.C. 5）では、以下のように規定されています。

"選挙人の任命が確定した日よりも前に制定された法律によって、当該国の選挙人の全部または一部の任命に関する論争または争議について、司法的方法またはその他の方法または手続によって最終的な決定を行うことを定めた国がある場合には、その決定は、選挙人の集会が確定した日の少なくとも6日前に行われなければならない。選挙人の招集日の少なくとも6日前までに行われた、当該日に現存する法律に基づいて行われた決定は、最終的なものであり、憲法に規定されている選挙人の投票の集計において、当該国が任命した選挙人の確認に関する限り、以下に規定されているように支配するものとする。

3 USCS セクション 5.

救済の要請

208.

よって、原告は、被告に対し、大統領府総選挙の結果の認証を解除するよう指示する緊急命令を求める。

209.

代わりに、原告は、被告が総選挙の公認結果に、選挙法に準拠していない不在者投票および郵送投票の集計を含めることを禁止する緊急命令を求める。これには、トランプ・キャンペーンの監視者が観察することを妨げられた不在者投票および郵送投票の集計、または、無効に投じられた不在者投票および郵送投票の集計に基づいて、(i)秘密の封筒がないものを含むが、これに限定されない。(ii)選挙人の身元、政治的所属、候補者の好みを明らかにするような文章、マーク、記号が封筒に入っていない、(iii)身体障害者以外の有権者のために第三者が直接手渡しで届けたもの。

210.

これらの未集計の投票や、有権者自身が注文しなかった投票の弊害や、これらの未注文の投票の多くが、実際には不正に投票された可能性があること、また

投票所での適切な投票のために、郵便投票システムはジョージア州で明らかに失敗し、大規模かつ広範囲に失敗しました。投票の失敗の規模は、偶発的なものであれ、意図的なものであれ、州内のマージンの何倍も大きい。これらの理由から、ジョージア州は郵送投票の結果に合理的に依拠することはできない。求められている救済は、2020年の選挙における郵送投票のカウントからの排除である。あるいは、ジョージア州の選挙人は、2020年の選挙に向けてカウントする資格を失うべきである。あるいは、ジョージア州の選挙人は、ドナルド・トランプ大統領に投票するよう指示されるべきである。

211.

以上の理由により、原告は、当裁判所に対し、自分たちに有利な判決を下し、以下の緊急救済を行うことを求める。

1. ケンプ知事、ラッフェンスペルガー長官、ジョージア州選挙委員会に選挙結果の認証を解除するよう指示する命令。
2. ケンプ知事に対し、現在認定されている選挙結果を選挙大学に送信することを禁止する命令。
3. ケンプ知事に、ドナルド・トランプ大統領が当選したとする公認選挙結果の送信を義務付ける命令。

4. ジョージア州のすべての投票機とソフトウェアを原告の専門家による検査のために押収する即時命令。
5. 連邦法および州法が要求するように認定されていない機械による無投票の受信または集計をカウントする命令。
6. ジョージア州長官規則183-1-14-0.9-.15が選挙人および選挙条項に違反していると宣言する宣言判決。

U.S. CONST.I, § 4;
7. ジョージア州の失敗した署名検証システムは、署名検証要件の事実上の廃止を働きかけることで、選挙人・選挙人条項に違反すると宣言した宣言判決。
8. 現在の公認選挙結果がデュープロセス条項に違反していることを宣言する宣言判決、U.S. CONST.Amend.XIV.
9. 郵送および不在者投票の不正行為は、不在者投票用紙の封筒の署名を適切に検証する完全手動再集計または統計的に有効なサンプリングによって是正されなければならない、再集計またはサンプリング分析によって十分な数の不適格な不在者投票がカウントされたことが示された場合には、認証された結果が無効となることを宣言する宣言的判決。

10. 法医学的監査のために投票機を直ちに押収・押収することを求める緊急宣告判決-by原告の予想。
11. 憲法違反、選挙法違反、州法違反で不在者投票不正が発生したと宣言した宣言判決。
12. 選挙改竄の圧倒的な証拠に基づき、現在認定されている結果を知事と国務長官が選挙区に送信することを禁止する永久差止命令。
13. 11月3日午前12時から午前3時まで、ジョージア州フルトン郡のステートファームアリーナで行われた投票プロセスで使用されたすべての部屋を録画した36時間の防犯カメラの即時制作。
14. 原告はさらに、裁判所に対し、本訴訟の費用、および42条に準拠した合理的な弁護士費用および費用を含むがこれらに限定されない、正当かつ適切な救済を認めるよう要請する。

U.S.C. 1988年

謹んで提出します 2020年11月25日のこの日に

CALDWELL, PROPST & DELOACH, LLP

ハリー・W・マクドゥガルド
ハリー・W・マクドゥガルド
ジョージア弁護士番号 463076

CALDWELL, PROPST & DELOACH, LLP

Two Ravinia Drive, Suite 1600
Atlanta, GA 30346
(404) 843-1956 - 電話
(404) 843-2737 - ファックス
hmacdougald@cpdlawyers.com
原告代理人

シドニー・パウ
エル* シドニー・
パウエルPC
テキサス州弁護士第
16209700号 ジュリア・
Z・ハラール*
エミリー・P・ニューマン
バージニア州弁護士ライセンス番
号 84265 2911 Turtle Creek Blvd,
Suite 300
テキサス州ダラス 75219

*入学許可申請書の提出について

L.リン・ウッド
GA弁護士番号774588
L.リン・ウッド、P.C.
私書箱52584
アトランタ, GA 30305-0584
電話: (404) 891-1402(404) 891-1402

ハワード・クラインヘンドラー
ニューヨーク・バーNo.2657120ハワード・クラインヘンドラ
ー・エスクァイア369レキシントン通り12階
ニューヨーク、ニューヨー
ク 10017 オフィス (917)

793-1188

携帯電話 (347) 840-2188

howard@kleinhendler.com

www.kleinhendler.com

*入学許可申請書の提出について

原告代理人弁護士